

平成27年度

第五次青梅市生涯学習推進計画

進ちよく状況報告書

(平成26年度分事業)

青梅市生涯学習推進本部



## はじめに

青梅市では、生涯学習施策を計画的に推進するため、平成26年度を初年度とする「第五次青梅市生涯学習推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

この報告書は、「第五次青梅市生涯学習推進計画」の進捗状況について年次報告として作成したものです。

生涯学習の理念である、市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向けて、計画の総合的かつ横断的な推進を図ります。

平成27年9月



## 目 次

### 第 1 章

I 計画の概要	7
II 施策の展開	10
III 青梅市事業計画一覧	15

### 第 2 章

計画の進ちよく状況調査報告書	20
1 生涯学習の基礎づくり	22
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	22
(2) 小・中学校教育の充実	23
(3) 家庭・学校・地域の連携	25
2 生涯学習の場と機会の拡充	27
(1) 施設の整備と有効活用	27
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	27
(3) 共に生きるための学習機会の充実	32
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	34
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	37
3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から	41
(1) 地域コミュニティ活動の支援	41
(2) 地域人材の育成と活用	43
4 学習情報提供と学習相談の充実	46
(1) 学習情報提供の充実	46
(2) 学習相談の充実	47
5 生涯学習推進体制の確立	48



## 第 1 章

### I 計画の概要

### II 施策の展開

### III 青梅市事業計画一覧

---

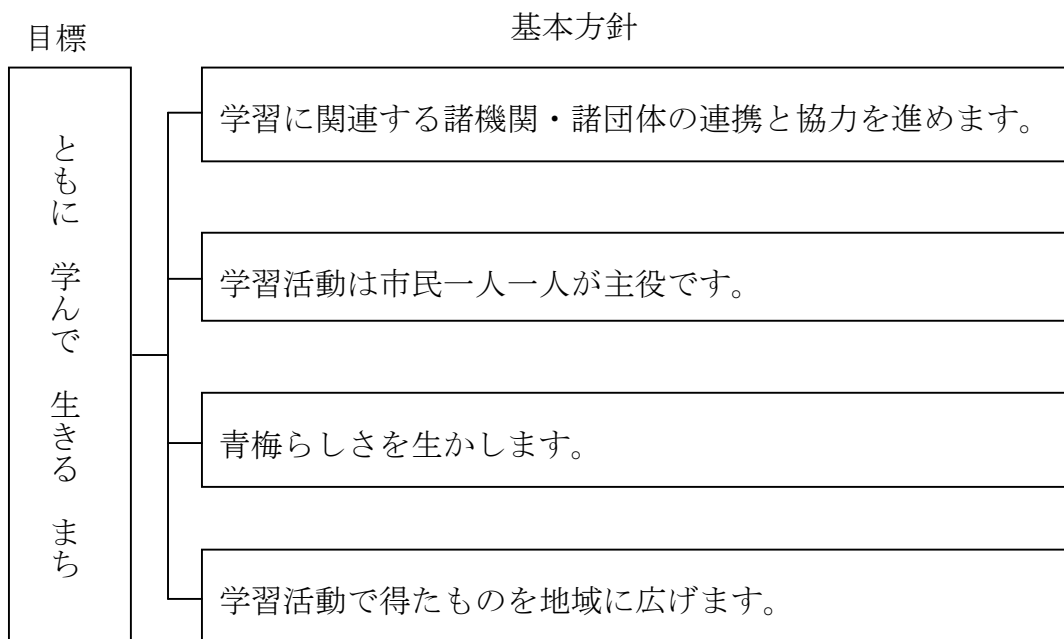




# I 計画の概要

## 第五次青梅市生涯学習推進計画

### 1 生涯学習推進の目標と基本方針



市民が生涯を通じ、学習の機会を選択して、様々な知識や技術が習得し、人格を磨き、「ともに学んで生きるまち」を実現できるように生涯学習の推進を図ります。

### 2 計画策定の趣旨

青梅市では、市民一人一人が生涯を通じて地域社会の中でともに学び・ともに教え合いながら、生きがいのある充実した生活を送ることができるような「生涯学習社会」を築くために、生涯学習推進計画を策定します。「ともに学んで生きるまち」を目指して、市民と行政のパートナーシップをもとにした生涯学習のまちをつくるために、市が実施している生涯学習関連の諸事業を体系化するとともに、市内生涯学習関係機関団体との協働により、諸施策の効果的な展開を図っていきます。

### 3 計画の期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

この推進計画は青梅市総合長期計画を上位計画（平成25年度から平成

34年度)とし、他の部門別計画とも整合性を図っていきます。

#### 4 計画の指針

青梅市における生涯学習に関する施策の総合的・効果的な推進を図り、生涯学習に関する既存施策を総合的な観点から体系化するとともに、将来において展開する必要がある施策の考え方を示します。

#### 5 計画の範囲

- (1) 生涯学習社会の形成に向けての市の役割を明記するものですが、計画の推進にあたっては、生涯学習に関連する各種団体・機関等の協力を得て推進します。
- (2) 対象となるのは、教育、文化、スポーツのほか、趣味やレクリエーション、福祉、保健衛生、防災、まちづくり等、市や各種団体・機関等で行う幅広い分野の学習事業とします。

#### 6 生涯学習の背景

- (1) 知識学習としての生涯学習  
社会の変化は次々と新しい知識や技術を出現させ、それぞれのライフスタイルやビジネスを充実させるために、それらの学習が必要とされています。学校の学習だけでなく社会人になってからも、学習し続ける必要があります。
- (2) 職業教育としての生涯学習  
市場の国際化に伴い、技術革新や労働の質の向上のため、職業技能や能力開発に関する研修や訓練が重視されてきました。(企業内研修からリフレッシュ教育、リカレント教育への取組へ。大学等高等教育機関に対して学習機会提供の期待が高まっています。)
- (3) 生きがい追求としての生涯学習  
時間的・経済的余裕が仕事以外で自己実現を可能としました。仕事を離れた高齢者や子育てを終えた女性が趣味・教養等の「自分探しの学習活動」を通じて、生きがい・充実感を追求する気運が高まっています。
- (4) 心のうるおいとしての生涯学習  
急激な社会変化がもたらす人間疎外や人間性の喪失に対処するため、心のうるおい・人との交流・ふれあいを求めて、仲間探しの学習活動が増えています。
- (5) まちづくり（地域形成）としての生涯学習  
学習する向上心が地域の活性化をもたらし、学習活動を通してこそよい

人間関係が生まれ、豊かで住みよい地域が実現されます。学習した人々が地域の担い手として地域づくりに参加し、学習の成果をまちづくりに生かしていくことが期待されています。

— スローガン —

「ともに学んでいきるまち」をめざして

O 応援します お互いに

M 学んで 教えて

E エンjoyします

みんなで 楽しむ 生涯学習

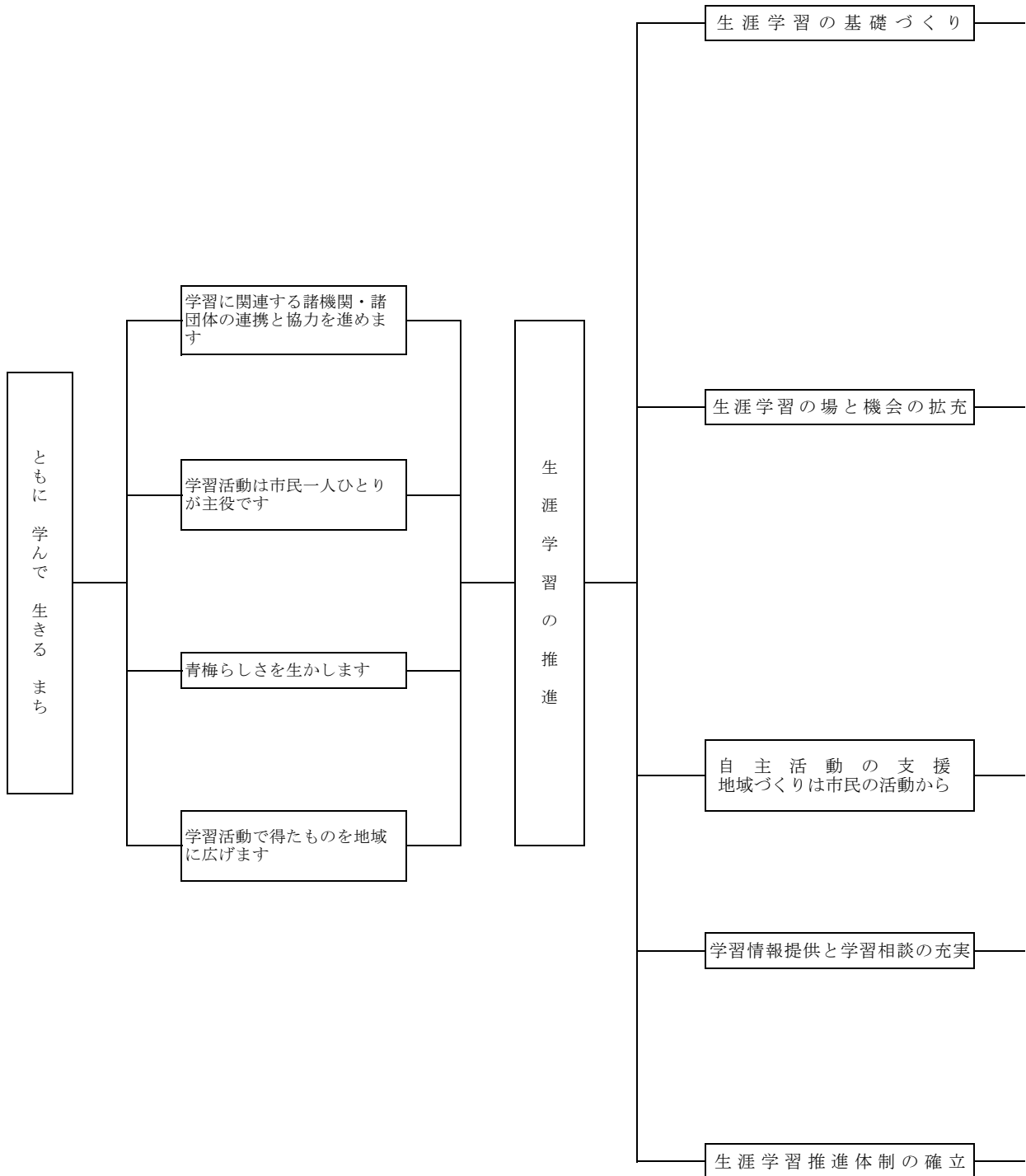
## II 施策の展開

### 1 計画の体系

(目標)

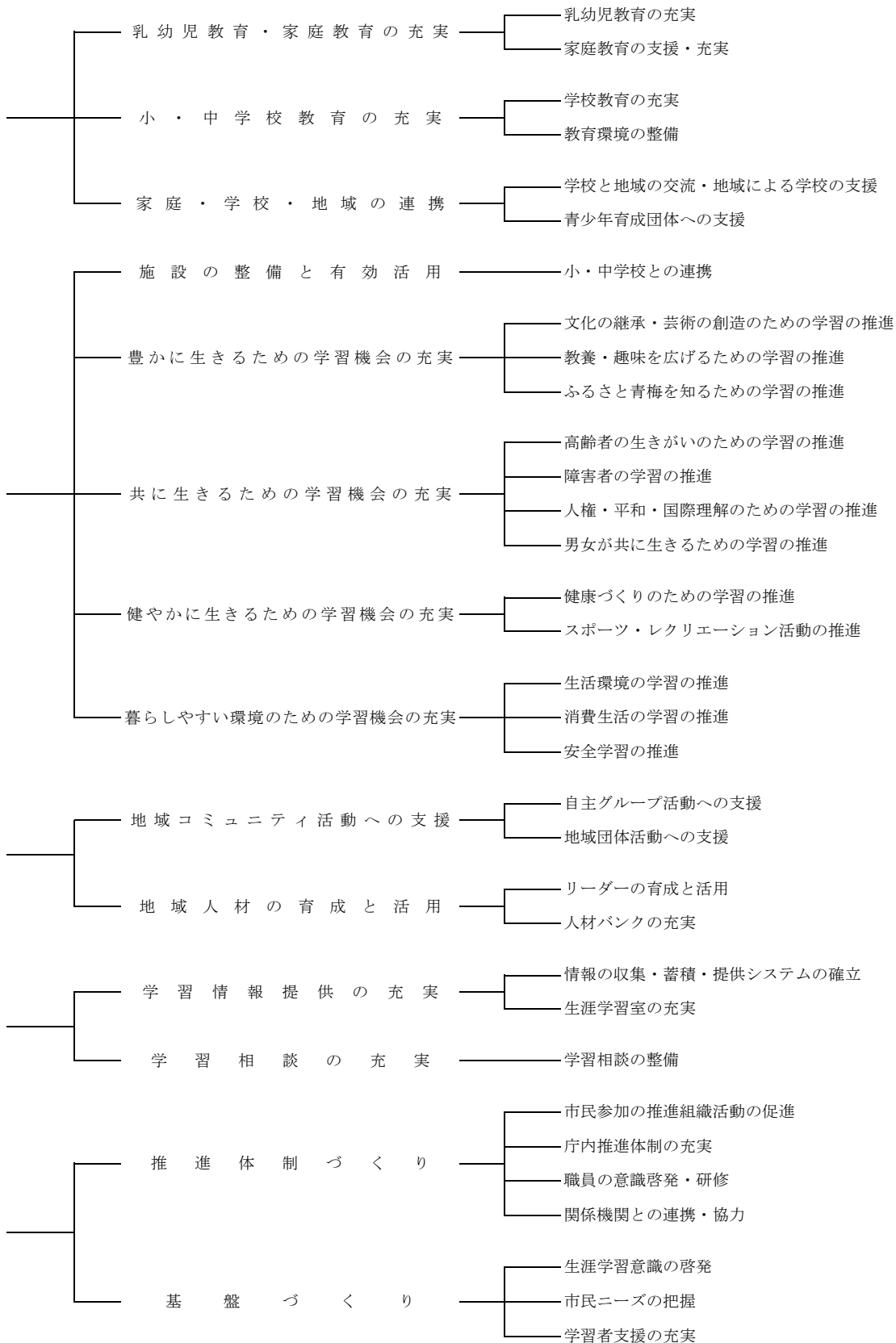
(基本方針)

(基本的施策)



(主な施策の方向)

(具体化の方策)



## 2 基本的施策

5つの基本的施策を設定し、総合的に施策を推進します。

- 1 生涯学習の基礎づくり
- 2 生涯学習の場と機会の拡充
- 3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から
- 4 学習情報提供と学習相談の充実
- 5 生涯学習推進体制の確立

### 1 生涯学習の基礎づくり

#### 基本的な考え方

生涯にわたり自らが考え、創造性豊かな充実した人生を送るためには、人間形成の基礎をつくる子どもの時期に基本的な学力や自らを成長させようという意欲、生きる力などを身につけることが大事です。

個性豊かな子どもの健全な成長を願い、子どもを取り巻く家庭・学校・地域が連携して子育て・教育の充実を図り、地域社会全体で行われるような環境を目指します。

子どもを取り巻く学習環境を見ると、少子化・核家族化の進展と同時に、家庭教育力・地域教育力の低下や親の意識改革が叫ばれています。また、いじめ、登校拒否等、様々な問題が子どもたちに重圧をかけてきています。このようなことから、各保育園で行っている子育て支援事業との連携や、小・中学校との連携を含め子育て相談、家庭教育の機会の提供など、家庭教育への支援や地域での青少年関係団体活動への支援などを通して「生涯学習の基礎づくり」に努めます。

#### 主な施策の方向

- (1) 乳幼児教育・家庭教育の充実
- (2) 小・中学校教育の充実
- (3) 家庭・学校・地域の連携

## 2 生涯学習の場と機会の拡充

### 基本的な考え方

市民が自主的に生涯にわたって学習し、健康で豊かな生活を送ることができるよう、市民一人一人がその能力や個性を伸ばし、自分の求めるものを自分に合った方法で「いつでも・どこでも・だれでも」が学べるよう、学習の場と機会の拡充に努めます。

また、あらゆる市民が身近な施設で活動できるよう、利用しやすさやバリアフリーの視点等から市民センター等の改修整備に努めます。また、インターネット等の活用による各種イベント情報の提供など、市民の利便性の向上を図ります。

### 主な施策の方向

- (1) 施設の整備と有効活用
- (2) 豊かに生きるための学習機会の充実
- (3) 共に生きるための学習機会の充実
- (4) 健やかに生きるための学習機会の充実
- (5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

## 3 自主活動の支援

### 基本的な考え方

地域づくり・まちづくりは市民の着実な活動から始まります。団体・サークル等の自主活動を通じて、仲間とのふれあいが生まれ、人と人との関係が豊かになってきます。このような自主活動の中で、お互いに学び合い、教え合うような人間関係が形成されます。こうした自主的な地域団体・自主グループの活動が活発になるよう応援するため、その自主性を基本として、活動の場の提供や講師・指導者の紹介などを支援していきます。

市民同士が教え合い、学び合う環境を整備し、生涯学習を地域から市民の手で推進していくような方策について検討していきます。

### 主な施策の方向

- (1) 地域コミュニティ活動への支援
- (2) 地域人材の育成と活用

## 4 学習情報提供と学習相談の充実

### 基本的な考え方

市民一人ひとりの学びの意思・意欲を大切にするとともに、学習活動が活発になるためには、生涯学習情報が「いつでも・どこでも・だれでも」が入手できることが求められています。

このことから、広報等の印刷物による学習や機会の場・方法などに関する情報をはじめ、インターネットによる情報提供を実施し、市の生涯学習事業に関する情報を発信することで、市民の生涯学習を支援します。

### 主な施策の方向

- (1) 学習情報提供の充実
- (2) 学習相談の充実

## 5 生涯学習推進体制の確立

### 基本的な考え方

生涯学習関連事業は、教育委員会部門だけでなく、行政部門でも各課で様々な事業が活発に行われるようになってきています。市民の自主的な学習活動を効果的に支援していくために、現在各課で個々に企画実施されている生涯学習事業を、それぞれの事業の目的を大切にしながらも、市民の生涯学習の推進という視点からとらえなおして、関係部課の横の連携協力関係を築いていくことが大切です。

各課の横の連携、情報交換を図ることで、同様の事業が他の部課と重複して実施されることを避け、バランスよく効率的に事業を実施していくことが必要です。そのために、市民の生涯学習を支援するという観点からの各課の事業担当職員の共通理解が必要です。

また、学習の主体である市民の意見を推進施策に反映させていくことが大切であり、市と市民が協力しながら推進施策を進めていくため、市と市民の情報交換や意見交換の場が必要です。そうした場を、協議機関・連携協力機関として生涯学習推進体制の中に充実させていきます。

### 主な施策の方向

- (1) 推進体制の充実
- (2) 基盤づくり



### Ⅲ 青梅市事業計画一覧

No.	事業名	所管課等	頁	
<b>1 生涯学習の基礎づくり</b>			22	
<b>(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実</b>			22	
1	母親学級	健康課		
2	乳幼児健康相談	健康課		
3	両親学級	健康課		
4	子育てひろば事業	子ども家庭支援課		
5	子育て支援事業	子ども家庭支援課		
6	親子のスキンシップを図る教室	社会教育課		
7	家庭教育学級	社会教育課		
8	おはなし会	中央図書館		
9	子ども読書活動推進事業講演会	中央図書館		
10	ブックスタート事業	中央図書館		
<b>(2) 小・中学校教育の充実</b>			23	
11	教員研修	指導室	24	
12	教育研究支援	指導室		
13	教科指導等の充実	指導室		
14	進路指導の充実	指導室		
15	生徒指導の充実	指導室		
16	相談機関の充実	指導室		
17	適応教室の充実	指導室		
18	情報教育の推進	指導室		
21	芸術・技術教育の支援	指導室		
22	スポーツ教育の振興	指導室		
16	特別支援学級の運営	教育指導担当		
<b>(3) 家庭・学校・地域の連携</b>				25
22・23	P T Aの活動への支援	市民センター・社会教育課		26
24	協働事業の支援	市民活動推進課		
25・26	青少年対策地区委員会事業への支援	市民センター・子ども家庭支援課		
27・28	青少年委員活動	市民センター・社会教育課		
29	青少年問題協議会	子ども家庭支援課		
30	子ども会・保護者会等の学習活動への支援	社会教育課		
31	放課後子ども教室	社会教育課		
32	職場体験事業	中央図書館		
33・34	地域人材の活用	指導室・社会教育課		
<b>2 生涯学習の場と機会の拡充</b>			27	
<b>(1) 施設の整備と有効活用</b>			27	
35	学校体育施設開放	スポーツ推進課		
<b>(2) 豊かに生きるための学習機会の充実</b>			27	
36	公共施設見学会	秘書広報課	28	
37	福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢介護課		
38	地域保健福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢介護課		
39	敬老会	高齢介護課		
40	観梅市民まつり	商工観光課		
41	後援等協力事業	商工観光課		
42	昭和レトロ商品博物館	商工観光課		
43	青梅赤塚不二夫会館	商工観光課		
44	シイタケ栽培講習会	農林課		
45	青梅市農業祭	農林課		

No.	事業名	所管課等	頁
46	16ミリ発声映写機・ビデオプロジェクター操作講習会	社会教育課	28
47	成人式	社会教育課	
48	掌理団体定期演奏会等	社会教育課	
49	市民大学	社会教育課	
50	農業食育体験教室・ふれあいまつり販売体験	社会教育課	
51	豊かに生きるための教室・講座等の企画運営	社会教育課	29
52・53	生涯学習フェスティバル（釜の淵新緑祭）	社会教育課・文化課	
54	展示活動（郷土博物館）	文化課	
55	郷土博物館講座	文化課	
56	文化財の調査保護	文化課	
57	文化財の紹介・普及	文化課	
58	実技講座（美術館）	文化課	
59	常設展（美術館）	文化課	30
60	特別展・企画展（美術館）	文化課	
61	ビエンナーレOME	文化課	
62	美術講演会	文化課	
63	市民映画会	文化課	
64	市民劇場	文化課	31
65	中央図書館講座等	中央図書館	
66	工作及び手芸教室	中央図書館	
67	上映会	中央図書館	
68	明るい選挙推進講演会	選挙管理委員会	
69	親子農業体験会	農林課	
70	本物にふれる会	吹上中学校	
71	ますつりにチャレンジ	青梅市青少年委員協議会	32
72	集まれおうめっ子	青梅市青少年委員協議会	
<b>(3) 共に生きるための学習機会の充実</b>			<b>32</b>
73	平和の写真展の開催	秘書広報課	33
74	国際交流活動支援	秘書広報課	
75	通訳ボランティア	秘書広報課	
76	男女平等講座の開催	企画政策課	
77	女性の就業への支援	企画政策課	
78	老壮大学	市民センター	
79	社会を明るくする運動	福祉総務課	
80	家庭介護DVDの貸出し	高齢介護課	
81	認知症サポーター養成研修	高齢介護課	
82	高齢者クラブ健康づくりモデル事業	高齢介護課	
83	家族介護教室	高齢介護課	
84	手話通訳者養成研修事業	障がい者福祉課	34
85	点字図書給付事業	障がい者福祉課	
86	身体障がい者自動車運転教習事業	障がい者福祉課	
87	相談支援事業	障がい者福祉課	
88	意思疎通支援事業	障がい者福祉課	
89	青梅市障がい者サポートセンター事業	障がい者福祉課	
90	中等度難聴児発達支援事業	障がい者福祉課	
91	国際理解講座	社会教育課	
92	共に生きるための教室・講座の企画運営	社会教育課	
93	生涯学習まちづくり出前講座	社会教育課	

No.	事業名	所管課等	頁	
<b>(4) 健やかに生きるための学習機会の充実</b>			34	
94	各種体操教室	スポーツ推進課	35	
95	青梅マラソン大会	スポーツ推進課		
96	有酸素運動普及事業	スポーツ推進課		
97	スポーツレクリエーションフェスティバル	スポーツ推進課		
98	市民体育大会	スポーツ推進課		
99	奥多摩溪谷駅伝競走大会	スポーツ推進課		
100	屋内温水プール開放事業	スポーツ推進課		
101	介護予防講演会	高齢介護課		
102	自主グループ育成支援	高齢介護課		
103・104	機能訓練	高齢介護課・健康課		36
105	おうめ健康まつり	健康課		
106	健康教育	健康課		
107	健康相談	健康課		
108	おうめ健康塾	総合病院管理課		
109・110 111・112	健やかに生きるための教室・講座の企画運営	スポーツ推進課・高齢介護課 健康課・社会教育課	37	
<b>(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実</b>			37	
113	広聴活動	秘書広報課	38	
114	交通公園日曜映画教室	市民安全課		
115	交通公園交通安全教室	市民安全課		
116	交通安全講習会	市民安全課		
117	【新規】セーフティ教室（交通事故再現方式）	市民安全課		
118	専門相談事業	市民安全課		
119	パネル展等	市民安全課		
120	消費者相談	市民安全課		39
121	消費者研修会・セミナー	市民安全課		
122	市民のくらし展	市民安全課		
123	親水事業の拡充	環境政策課		
124	市民環境講座	公園緑地課		
125	環境月間	環境政策課	40	
126	ごみ処理施設見学会	清掃リサイクル課		
127	クリーン&スリム大作戦	清掃リサイクル課		
128	小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進ポスターコンクール	清掃リサイクル課		
129	ごみ減量講座	清掃リサイクル課		
130	野鳥講座	農林課		
131	暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	社会教育課		
<b>3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から</b>			41	
<b>(1) 地域コミュニティ活動への支援</b>			41	
132	総合防災訓練	防災課	42	
133	防災ハンドブックの作成・配布	防災課		
134	市民活動災害補償制度	市民活動推進課		
135	自主学习グループ支援	市民センター		
136	支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等 各地域団体の支援	市民センター		
137	青梅型地域スポーツクラブ	スポーツ推進課		
138	地区市民運動会等支援	スポーツ推進課		
139	環境美化大会	清掃リサイクル課		
140	資源回収の奨励	清掃リサイクル課		
141	社会教育関係団体補助	社会教育課		

No.	事業名	所管課等	頁
142	総合文化祭	文化課	42
143	落ち葉掃き等ふれあい活動	吹上中学校	
<b>(2) 地域人材の育成と活用</b>			<b>43</b>
144	合同企業説明会in青梅	商工観光課	
145	防災リーダーの育成	防災課	
146	子供会ジュニアリーダー講習会	市民センター	
147	子供会育成指導者講習会	市民センター	
148	地域の特性を生かした事業	市民センター	
149	スポーツ推進委員研修	スポーツ推進課	
150	シルバーマイスター制度	高齢介護課	
151	吹上しょうぶ公園・梅の公園ガイドボランティア	商工観光課	44
152	青梅市森林ボランティア育成講座	農林課	
153	緑地管理ボランティア	公園緑地課	
154	青少年リーダー育成研修会事業	社会教育課	
155	講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体人材登録制	社会教育課	
156	芸術文化奨励賞	文化課	45
157	おはなし学習会	中央図書館	
158	絵本のべんきょう会	中央図書館	
<b>4 学習情報提供と学習相談の充実</b>			<b>46</b>
<b>(1) 学習情報提供の充実</b>			<b>46</b>
159	広報おうめの発行	秘書広報課	
160	男女平等情報紙	企画政策課	
161	インターネットホームページの充実	情報システム課	
162	青梅税務署管内小学生による『税を考える週間』書道展	市民税課	
163	土砂災害対策の充実	防災課	
164	市民センターだよりの発行	市民センター	
165	観光CD-Rの貸出し、観光テレフォンサービス	商工観光課	
166	生涯学習だよりの発行	社会教育課	
167	市民企画講座の募集	社会教育課	
168	社会教育事業の学校への周知	社会教育課	
169	図書館報の発行	中央図書館	47
170	ブックリストの配布	中央図書館	
171	分館図書館だよりの発行	中央図書館	
<b>(2) 学習相談の充実</b>			<b>47</b>
172	学習相談	社会教育課	
<b>5 生涯学習推進体制の確立</b>			<b>48</b>
<b>推進体制づくり</b>			<b>48</b>
173	職員対象啓発事業	職員課	
174	生涯学習推進本部	社会教育課	
175	生涯学習推進市民会議	社会教育課	

## 第2章

### 計画の進捗状況調査報告書

---

## 計画の進ちよく状況調査報告書

調査内容 事業内容と進ちよく状況

1 平成26年度取組状況

2 担当課評価

評価記号	評価	評価基準
◎	順調である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的で優れた取組を行った。</li> <li>・ 大きな成果を上げた。</li> <li>・ 課題や問題点もない。</li> </ul>
○	おおむね順調である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な取組を行った。</li> <li>・ 一定の成果を上げた。</li> <li>・ 大きな課題や問題点はない。</li> </ul>
△	一部困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組を行った。</li> <li>・ 多少の成果を上げた。</li> <li>・ 課題や問題点がある。</li> </ul>
×	困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組を行わなかった。</li> <li>・ 取組を行ったが、成果は上がらなかった。</li> <li>・ 大きな課題が残った。</li> </ul>
—	事業終了 隔年実施	

事業計画	事業数	◎	○	△	×	－
1 生涯学習の基礎づくり	34	19	15	0	0	0
(1)乳幼児教育・家庭教育の充実	10	5	5	0	0	0
(2)小・中学校教育の充実	11	11	0	0	0	0
(3)家庭・学校・地域の連携	13	3	10	0	0	0
2 生涯学習の場と機会の拡充	97	29	65	0	2	1
(1)施設の整備と有効活用	1	0	1	0	0	0
(2)豊かに生きるための学習機 会の充実	37	15	20	0	2	0
(3)共に生きるための学習機 会の充実	21	2	19	0	0	0
(4)健やかに生きるための学習 機会の充実	19	2	17	0	0	0
(5)暮らしやすい環境のための 学習機会の充実	19	10	8	0	0	1
3 自主活動の支援	27	10	16	1	0	0
(1)地域コミュニティ活動への 支援	12	2	9	1	0	0
(2)地域人材の育成と活用	15	8	7	0	0	0
4 学習情報提供と学習相談の充実	14	4	10	0	0	0
(1)学習情報提供の充実	13	3	10	0	0	0
(2)学習相談の整備	1	1	0	0	0	0
5 生涯学習推進体制の確立	3	0	3	0	0	0
(1)推進体制づくり	3	0	3	0	0	0
合 計	175	62	109	1	2	1
割 合 (%)	100	35.4	62.3	0.6	1.1	0.6

基本的施策  
1生涯学習の基礎づくり

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	健康課	1 母親学級	初産の妊婦を対象に安心して出産ができるよう親となる心構えを伝え、妊娠中の不安を解消します。	健康センターにおいて、参加しやすいように、4日間コースと3日間コースの教室を実施した。 ・4日間コース 年6回実施 延べ参加人数 319人 ・3日間コース 年2回実施 延べ参加人数 58人	○
	健康課	2 乳幼児健康相談	健康・栄養・歯科および育児に不安がある乳幼児に対し、小児科医師等が専門的な立場から適切な指導助言を行い、保護者の育児を支援します。	健康センターにおいて、以下の相談事業を実施したほか、電話での各種相談にも対応した。 ・医師による乳幼児健康相談 年24回実施 延べ件数365件 ・健康センター専門職による乳幼児健康相談 年12回実施 延べ件数297件 ・心理相談員による子ども発達相談 年60回実施 延べ件数795件	○
	健康課	3 両親学級	妊娠16週から27週までの妊婦と夫を対象に、赤ちゃんの育て方、あやし方、お風呂の入れ方等について指導し、父親の子育て参加を促します。	健康センターにおいて、夫婦で参加しやすい土曜日に実施した。 ・2日間コース 年3回実施 延べ参加人数 186人	○
	子ども家庭支援課	4 子育てひろば事業	保育所の機能・スペースを活用して、ふれあいの場を提供し、日常的で身近な問題について、保護者・子どもから相談を受け、話し相手になります。また、啓発事業を実施します。	・13箇所の保育園で実施した。 ・保育園を開放し、誰でも参加できるふれあいの場を提供した。 ・育児講座を開催。 ・親子参加行事を開催。 ・相談業務を行った。	○
	子ども家庭支援課	5 子育て支援事業	青梅市子育て支援センターなど、子育てと子どもの健やかな成長を支援する場を提供するとともに、講座等を行います。	・市内の各市民センター、子育て支援センターおよび下長洲自治会館で事業を実施した。 ・手遊び型の事業では和室や会議室などで、絵本や積み木などを使った遊びを行った。 ・体育型では体育館でボールや縄跳びなどを使った遊びを行った。 実施回数 476回 延べ参加人数 8,498人	○
	社会教育課	6 親子のスキンシップを図る教室	「親子スキンシップ教室」、「ちびっこひろば」等、親と子のスキンシップを図る教室を開催します。	全8回の教室を10教室、全12回の教室を1教室、体験型イベントを1回実施した。 ・親子ふれあいスクール河辺(河辺市民センター・424人) ・親子ふれあいスクール沢井(沢井市民センター・64人) ・ちびっこひろば(長洲市民センター・442人) ・親子スキンシップ教室梅郷こぐま(梅郷市民センター・276人) ・親子スキンシップ教室大門パンダ(大門市民センター・279人) ・親子スキンシップ教室東青梅すみれ(東青梅市民センター・310人) ・親子スキンシップ教室青梅メロン(天ヶ瀬体育館・釜の淵市民館・245人) ・親子スキンシップ教室成木たんぼぼ(成木市民センター・241人) ・親子スキンシップ教室新町うさぎ(新町市民センター・235人) ・親子スキンシップ教室新町もも(新町市民センター・282人) ・親子スキンシップ教室今井いちご(今井市民センター・270人) ・ちびっこランド(総合体育館・103人)  ※括弧内の人数は教室の延べ参加人数  合計 3,171人	◎
	社会教育課	7 家庭教育学級	主に乳幼児から中学生を持つ親を対象に、家庭教育に関する様々なテーマで開催します。	家庭教育講演会 ・第1回 学校の成績ってどうしたら上がるの?～家庭のルールが学力を変える!～ 実施日 11月8日 参加人数 41人 ・第2回 子育て人生をバツと明るく!～育児ストレス解消法のヒント～ 実施日 12月13日 参加人数 26人 ・第3回 子どもとスマホの出会い方～子育て上手のスマホ活用術～ 実施日 3月21日 参加人数 23人	◎
	中央図書館	8 おはなし会	絵本の読み聞かせやおはなしの語りなどを行います。	4月4日から3月28日の延べ67回、中央図書館、市民センター、小学校でおはなし会を実施した。 延べ参加人数 1,391人 また、平成26年度においても、紙芝居のおはなし会を実施した。 5月17日、12月27日の延べ6回。 延べ参加人数 100人	◎



施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	中央図書館	9 子ども読書活動推進事業講演会	子どもの読書活動を推進するための講演会などを実施します。	11月30日に、「青梅市在住絵本画家 味戸ケイコさんの講演会」を開催した。原画の中での、本人による絵本の読み聞かせも行った。 参加人数 58人	◎
	中央図書館	10 ブックスタート事業	乳幼児健診時において、希望する保護者に対し、絵本の読み聞かせ等の相談とブックスタート・リーフレットの配布を実施します。	健康課との共催で、乳幼児に対する絵本の配布と、4月2日から3月18日の延べ23回、乳幼児健診時において、絵本の紹介とブックスタート・リーフレット「あかちゃんといっしょに」の配布を行った。中央図書館で行う、乳幼児向けおはなし会の案内も行った。延べ参加人数 569人  また、乳幼児と保護者に中央図書館多目的室を開放して、「語りかけてね おかあさん」事業を実施し、お母さん達同士の交流の場として提供した。 実施日 5月8日、7月9日、10月31日 延べ参加人数 190人	◎
(2) 小・中学校教育の充実	指導室	11 教員研修	教員の資質や能力の向上を図るため、職層や教職経験に応じた研修、専門的研修を実施します。	校長研修 2回 副校長研修 2回 教務主任会 8回 生活指導主任会 11回 若手教員育成研修1年次10回 若手教員育成研修1年次(宿泊研修)1回 若手教員育成研修2年次 4回 若手教員育成研修3年次 4回 市内視察研修 1回 中学校進路指導主任会 3回 新任主幹教諭研修 1回 人権教育研修 6回 学校教育相談研修 2回 情報セキュリティ研修 5回 特別支援教育理解研修 2回 教育経営研修 1回 情報教育推進委員会 4回 水泳指導研修 1回 普通救命講習 1回 教育課題研修 2回 10年経験者研修 10回 特別支援教育コーディネーター研修 3回 小学校外国語活動研修 2回 食育リーダー連絡会 3回 柔道(武道)研修 1回 情報モラル研修1回	◎
	指導室	12 教育研究支援	教育課題の解決、教科指導法の改善等の研究を支援し、より良い学校教育を目指します。 ・研究指定校、教育研究会、校内研修に対する支援	・研究指定校等への支援 小・中学校合わせて5校の研究を支援した。 ・教育研究会への支援 小中学校あわせて8組が研究成果を発表した。 ・校内研修に対する支援 担当指導主事を中心に年間100回程度の指導訪問を実施した。	◎
	指導室	13 教科指導等の充実	1 東京都の学力状況調査において青梅市の平均点が東京都の平均を上回ることを目標に、指導等を充実します。 2 いじめの根絶に向け、人権教育・道徳教育を充実します。 3 外国人英語指導助手(AET)を活用し、小・中学校の英語教育、国際理解教育を推進します。 4 地域社会・地域環境の理解を深め、社会の一員としての自覚を育てます。 5 児童・生徒の学力向上を図るため、市民センター等を拠点として、地域の人材をコーディネーターや指導者として活用し、土曜日に補習教室を実施します。	・国語、算数、数学の基礎的な学力の定着を図るため「青梅サタデースクール」を6校で実施した。 ・算数、数学の基礎的な学力の定着を図るため、東京都の委託事業「学力向上パートナーシップ事業」を3校で実施した。 ・英語教育、外国語活動を目的にAETを全校に派遣した。(年間1,210日程度) AET担当者会を4回、小学校外国語活動中核教員研修会を2回実施し、AETの効果的な活用と指導についてを協議した。 ・副読本の活用と資料集の作成・活用 小学校3年生を中心に年間指導計画に位置付け、副読本を活用した授業を実施。 学力向上推進委員会を5回、道徳教育推進委員会を4回実施し、教員の資質向上を図った。	◎
	指導室	14 進路指導の充実	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自分の意志と責任で進路を選択決定する能力・態度を育てます。	・進路指導主任会を年3回実施し、各学校におけるキャリア教育の円滑な推進について協議・研修した。 ・中学生を対象に、3日間の職場体験活動を実施し、勤労観や職業観を育成した。	◎

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 小・中学校教育の充実	指導室	15 生徒指導の充実	豊かな人間性と社会性を育成するために、児童・生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高め、公共心をはぐくみます。	・生活指導主任会を年間5回実施し、情報交換や連携を深めた。 ・中学校生活指導主任連絡協議会を年間6回実施し、関係機関との情報交換や連携について協議した。	◎
	指導室	16 相談機関の充実	1 教育相談所 幼児・児童・生徒や保護者から、学校生活や家庭における問題、悩みについて相談に応じ、援助・助言を行います。 2 青少年相談室 青少年や保護者から、生活指導や性格、行動等の問題、悩みの相談に応じ、青少年等の非行防止と健全育成を図ります。 3 スクールソーシャルワーカーおよび心理相談員の派遣などにより、青梅市公立学校相談室と教育相談所等の連携を図ります。	・いじめの根絶を目的に「青梅市いじめの防止に関する条例」を制定した。 ・教育相談所 新たにスクールソーシャルワーカーを2人に増員し、家庭訪問などを行い42件の事例に対応した。 相談所における来所相談件数は年間370件で電話相談は28件。面談回数は、保護者2,062回、子供761回で合計2,823回であった。 ・青少年相談 学校や都教育相談センター、保健所などの関係機関と連携しながら課題解決に努めた。 ・スクールカウンセラーとの連携 東京都が市内全小・中学校にスクールカウンセラーを配置しており、教育相談所のスクールソーシャルワーカー等を介し、連携を図った。	◎
	指導室	17 適応教室の充実	1 ふれあい学級 不登校児童・生徒に対し、生活習慣の確立および学習等の援助を行い、在籍校への復帰を支援します。 2 外国人児童・生徒学級 外国人児童・生徒および帰国児童・生徒に対し、日本語の指導を行い、安心して学校生活を送れるよう援助します。	・適応指導教室(ふれあい学級) 通級者数児童2人、生徒25人の計27人に対し在籍校への復帰につながる指導を行った。 ・外国人児童・生徒学級 在籍児童・生徒数7人に対し、週2回の指導を実施した。	◎
	指導室	18 情報教育の推進	児童・生徒の情報活用能力を育成し、確かな学力の向上を図るために、教科指導におけるICTの活用を推進します。	・情報教育の推進 小学校低学年では、基本的な操作の習得学習を行った。 小学校高学年および中学校では、各教科および総合的な学習の時間等におけるICTを活用した調べ学習やレポート作成を行った。 教員を対象にスマートフォンを活用した情報モラル研修を実施した。	◎
	指導室	19 芸術・技術教育の支援	「小学校造形作品展」、「中学校美術展覧会」、「中学校技術・家庭作品展」を開催し、児童・生徒の豊かな心情の陶冶や芸術・技術能力の向上を図るとともに、広く市民に教科への理解を得ます。	・小学校造形作品展 会期 1月31日～2月1日 会場 青梅市立美術館 ・中学校生徒美術展 会期 1月22日～27日 会場 中央図書館多目的室 ・中学校技術・家庭科作品展 会期 2月13日～18日 会場 西友河辺店ポツパルトホール	◎
	指導室	20 スポーツ教育の振興	「中学校陸上競技大会」「中学校球技大会」「中学校駅伝大会」の開催を通して、精神力や体力を磨けるよう支援します。	・各種の運動に共通する「走り方」を学ぶため、東京都市長会の補助を受けて「走るの大好き青梅の子」を小学校8校で実施した。 ・中学校陸上競技大会 実施日 7月16日 会場 都立秋留台公園陸上競技場 ・中学校総合球技大会 実施期間 8～9月 会場 市民球技場ほか ・中学校駅伝競走大会 実施日 11月12日 会場 明星大学敷地内特設コース ・中学生東京駅伝大会への参加 実施日 2月1日	◎
	教育指導担当	21 特別支援学級の運営	児童・生徒の障害に応じたきめ細かな教育を実施していくため、教育環境の整備を図ります。特別支援学級設置校に介護員を配置します。	・教育環境の整備 青梅市特別支援教育実施計画(第3次)にもとづき、吹上中学校に市内中学校3校目となる自閉症・情緒障害特別支援学級(固定学級)を開設し、特別な支援を必要とする生徒への教育環境の整備を図った。 ・介護員の配置 特別支援学級(固定学級)に在籍する児童・生徒数の増加にともない、昨年度より7名多い30名の介護員を配置し、児童・生徒への指導の充実を図った。	◎

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(3) 家庭・学校・地域の連携	市民センター	22	会議室の提供、用具・備品等の貸出しなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAが主催する講演会や研修視察等に対する支援を行った。</li> <li>・会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどを行った。</li> </ul>	○
	社会教育課	23	PTAの活動への支援 小・中PTAが主催する講演会や研修視察等に対する援助を行い、子どもたちの健全な成長を目指して、親と教師が協力して家庭・学校・地域の教育力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校のPTA活動を支援した。</li> <li>・PTA連合会主催講演会の支援を行った。</li> <li>・用具・備品の貸出しを行った。</li> </ul>	○
	市民活動推進課	24	協働事業の支援 行政と市民活動団体との協働事業を、青梅ボランティア・市民活動センターと連携して支援・推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の情報交換会を通して、協働事業や市民活動団体の活動状況等について情報共有した。</li> <li>・市民提案協働事業募集の周知等を青梅ボランティア・市民活動センターからも行うなどの連携を図った。</li> <li>・青梅ボランティア・市民活動センター職員に青梅市協働事業市民推進委員会委員として就任いただき、協働事業の評価や協働によるまちづくり等について意見を伺った。(市民活動推進係)</li> </ul>	○
	市民センター	25	青少年対策地区委員会事業への支援 青少年の健全育成を目指して実施する様々な青少年対策事業に支援協力を行います。「健全育成チラシの配付」「健全育成標語看板の作製」などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年対策事業の事務的支援および会議室の提供、備品の貸出を行った。</li> <li>・青梅っ子わいわいフェスタ、ミニ青梅マラソン大会(青梅C)</li> <li>・親子ふれあい綱引き大会(長淵C)</li> <li>・球技大会、親子綱引き大会、社会を明るくする運動、霞川清掃等(大門C)</li> <li>・梅郷子ふれあい塾、講演会、ランニング教室、地区綱引き大会(梅郷C)</li> <li>・ランニング教室、三田っ子ふれあいまつり、サウンドフェスタ三田、キンボール教室、親子ふれあい綱引き大会、多摩川遊歩道パトロール(沢井C)</li> <li>・黒沢川清掃活動、ジュニアリーダーキャンプ教室、青少対、小中PTAで行う3団体講演会(小曾木C)</li> <li>・ジュニアリーダーキャンプ教室、流しそうめん&amp;マスカみ取り体験教室、少年少女マラソン大会(成木C)</li> <li>・霞川清掃、親子ハイキング、青少年球技大会、親子ふれあい綱引き大会(東青梅C)</li> <li>・ドッジボール大会、体験学習バスツアー、天体観測会、親子芋掘り教室、スプリングコンサート(新町C)</li> <li>・多摩川1万人の清掃大会参加、体験講座じゃが芋堀大会、健全育成立て看板の設置、防犯パトロール、親子ふれあい綱引き大会(河辺C)</li> <li>・少年少女球技大会、社会を明るくする運動講演会、ふるさとまつり2014のゲームコーナー・ふれあい動物まつり(今井C)</li> </ul>	○
	子ども家庭支援課	26		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区における青少年の健全育成事業の推進を図るため、青少年対策各地区委員会に対し、補助金を交付した。</li> <li>・青少年対策地区委員の資質の向上を図って、日帰りの視察研修を実施した。</li> <li>・青少年健全育成チラシの配布を行った。</li> <li>・第13回青梅市親子ふれあい綱引き大会を開催した。</li> </ul>	○
	市民センター	27	青少年が地域で健やかに成長できるよう、学校等とも連携し余暇指導、青少年指導者への協力および青少年団体の指導育成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年が地域で健やかに成長できるよう、余暇指導、青少年指導者への協力を行った。(各市民センター)</li> <li>・青少年委員の協力のもと青少年の指導育成事業としてジュニアリーダー講習会を実施した。(長淵C、小曾木C、東青梅C、新町C)</li> </ul>	○
	社会教育課	28	青少年委員活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会12回(毎月第二火曜日)</li> <li>・委員研修 実施日 1月25日 会場 風の子太陽の子広場 ロープワーク研修を実施した。</li> <li>・多摩第3ブロック研修 実施日 9月27日 会場 沢井市民センター・御岳渓谷 トレジャーハンティングを実施した。</li> <li>・青少年リーダー育成研修会への協力</li> <li>・成人式への協力</li> <li>・自主事業の実施</li> </ul>	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(3) 家庭・学校・地域の連携	子ども家庭支援課	29 青少年問題協議会	青少年の健全育成を目指して青少年健全育成基本方針の策定や様々な支援協力を行います。「休みのしおり」や「健全育成チラシ作成」などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成チラシを作成し、小・中学校、各市民センター、関係機関等に配付するとともに、全ての自治会に回覧を依頼した。</li> <li>・協議会を以下の内容により2回開催した。</li> </ul> 実施日 7月17日 平成25年度青少年健全育成活動状況について 平成26年度青少年健全育成活動計画について 平成26年度青少年健全育成環境整備対策について 最近の少年非行について 情報交換  実施日 2月16日 平成26年度青少年健全育成活動状況について 青少年健全育成チラシについて 最近の少年非行について 情報交換	○
	社会教育課	30 子ども会・保護者会等の学習活動への支援	子ども会・保護者会等の学習活動に対する支援を行い、青少年の健全育成を図ります。	用具・備品の貸出を行った。	○
	社会教育課	31 放課後子ども教室	スポーツや文化活動やさまざまな体験活動、地域住民との交流活動などを実施します。学ぶ意欲のある子どもに、学習機会を提供します。	第二小学校を新規開設校とした計9校で、おうめ放課後子ども教室「タやけランド」を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二小学校(全24回) バドミントン、ドッチボール、工作、バレーボール、自主学習ほか 延べ参加人数 2,478人</li> <li>・第三小学校(全37回) バドミントン、ドッチボール、工作、フラフープ、サッカーほか 延べ参加人数 1,749人</li> <li>・第四小学校(全35回) 自主学習、工作、紙芝居、卓球、バドミントン、サッカーほか 延べ参加人数 2,354人</li> <li>・第五小(全121回) 自主学習、工作、こま回し、バドミントン、フラフープ、サッカー、ドッチボールほか 延べ参加人数 4,951人</li> <li>・第六小(全35回) 自主学習、工作、折り紙、バドミントン、ボール遊び、サッカーほか 延べ参加人数 1,099人</li> <li>・第七小(全78回) 自主学習、工作、卓球、ドッチボール、バドミントン、サッカー、一輪車ほか 延べ参加人数 4,379人</li> <li>・河辺小(全22回) 自主学習、工作、ドッチビー、けん玉、バスケットボールほか 延べ参加人数 1,067人</li> <li>・霞台小(全30回) 自主学習、折り紙、囲碁道場、サッカー、バドミントン、ビーチボール、野球ほか 延べ参加人数 1,426人</li> <li>・友田小(全36回) 自主学習、読書、バスケットボール、サッカー、カードゲーム、バドミントンほか 延べ参加人数 1,858人</li> </ul>	◎
	中央図書館	32 職場体験事業	職場体験学習として市内の中学生、高校生を受け入れ、図書館業務全般を体験します。	5月27日から1月23日にわたり、市内の中学生、高校生を受け入れ、図書館業務全般について、体験学習を実施した。 中学校 10校 33人、高等学校 1校 8人	◎
	指導室	33 地域人材の活用	地域の優れた人材を掘り起こし、地域と学校が連携協力し、子どもたちの健全育成に活用します。	保護者等のボランティアにより、図書室の整備等が行われた。	◎
	社会教育課	34		地域の人材を放課後子ども教室で活用した。 親子での文化体験や生涯学習推進市民会議企画の講師として活用した。	○

## 2 生涯学習の場と機会の拡充

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
備と有効活用 (1)	スポーツ推進課	35 学校体育施設開放	生涯スポーツの普及・発展、市民の健康と体力の増進を図るため、小・中学校の体育施設(校庭・体育館)を市民スポーツ団体の利用に供します。	登録団体 221団体 利用回数 6,733回 利用人数 168,969人	○
	秘書広報課	36 公共施設見学会	市内の公共施設等の状況を見て、考えていただく機会を提供するため、市民を対象に実施します。	中央図書館、郷土博物館の見学会を行った。 実施日 8月7日、3月7日 参加人数 22人	○
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	高齢介護課	37 福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢者が趣味を広げ、教養を深められるよう各種講座を開催します。活動の成果を発表する場として、高齢者教養講座合同文化祭を開催します。	高齢者教養講座を5講座実施した。 ・詩吟 年24回 参加人数 13人 ・毛筆 年18回 参加人数 27人 ・ペン習字 年18回 参加人数 30人 ・茶道 年24回 参加人数 10人 ・華道 年18回 参加人数 8人 平成26年度高齢者教養講座合同文化祭開催 会場 福祉センター 参観者 318人	○
	高齢介護課	38 地域保健福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢者の生きがい、健康増進、教養を高めることを目的に、沢井・小曾木保健福祉センターでは、各種教室を開催します。	高齢者教養講座を4講座実施した。 沢井保健福祉センター ・茶道 年30回 参加人数 5人 ・華道 年19回 参加人数 9人 小曾木保健福祉センター ・絵画 年39回 参加人数 26人 ・合唱 年30回 参加人数 40人	○
	高齢介護課	39 敬老会	75歳以上の方を総合体育館に招待し、式典・演芸を行い、長寿をお祝します。	75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催した。 開催日 9月27日 会場 総合体育館 参加人数 1,917人	○
	商工観光課	40 観梅市民まつり	3月、「市の花」の梅が満開の吉野梅林において、俳句大会を始め様々なイベントを楽しみながら、自然に親しみ、参加者同士が交流を深めることができる機会として開催します。	5月に梅の公園の梅の木は全伐となったが、歴史ある「観梅市民まつり」を継承し、引き続き、多くの人が集まるイベントとして「吉野梅郷市民まつり」を神代橋通りで実施した。 吉野梅郷市民まつり 実施日 3月15日 会場 神代橋通り 参加人数 8,000人	○
	商工観光課	41 後援等協力事業	青梅市の産業や観光を知り、自然に親しむ機会や参加者同士の交流が図れる機会として、産業観光関連のイベントに協力します。 ・産業観光まつり、カンタンを聞く会	・第47回青梅産業観光まつり 実施日 11月1日、2日 会場 永山公園グラウンド 参加人数 33,000人 ・第59回カンタンをきく会 実施日 9月6日～7日 1泊2日 会場 御岳山 参加人数 36人	◎
商工観光課	42 昭和レトロ商品博物館	商店街空き店舗活用推進事業として、平成11年に住江町に開館した博物館。昭和30～40年頃のお菓子や薬などの商品パッケージを中心に、昭和を彩った懐かしい商品文化をお楽しみください。2階には、小泉八雲作の「雪女」と関わりのある資料を展示。	・昭和レトロ商品博物館 入場者数 16,350人	◎	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	商工観光課	43 青梅赤塚不二夫会館	商店街振興事業として、住江町商店街振興組合が、青梅駅周辺商店街の賑わいを創出するため、平成15年10月に開館。 明治時代後期の蔵に昭和を代表する漫画家「赤塚不二夫氏」の原画や貴重な写真などを展示。	・青梅赤塚不二夫会館 入場者数 15,652人 ・青梅赤塚不二夫会館 11周年企画 沈没商店街浮上大作戦2014 実施日 11月11日～16日 会場 青梅赤塚不二夫会館 来場者 4,500人	◎
	農林課	44 シイタケ栽培講習会	農業への理解を深め、収穫の喜びを体験していただくための講習会を開催します。	実施日 2月21日 会場 花木園 内容 原木への種ごまの打ち込み、育成管理指導 指導 青梅きのこ生産振興会 参加人数 70人	◎
	農林課	45 青梅市農業祭	市内の農畜産物の展示や直売などにより、農業への理解と関心を深めてもらうとともに、参加者同士のふれあいの場を提供します。	実施日 11月1日、2日 会場 永山公園総合運動場 内容 第47回青梅市農産物共進会(出品数286点)、農産物等の直売・半額セール	◎
	社会教育課	46 16ミリ発声映写機・ビデオプロジェクター操作講習会	映写機の操作方法、映写方法、映写会場の作り方などを学ぶ講習会を実施します。	・ビデオプロジェクター操作講習会 6月20日、2月6日実施 計31人修了 ・16ミリ発声映写機操作講習会 10月5日実施 計5人修了	○
	社会教育課	47 成人式	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。 1月第2月曜日(成人の日) 総合体育館ホール	実施日 1月12日 会場 総合体育館 出席者数 1,118人	○
	社会教育課	48 掌理団体定期演奏会等	・青梅児童合唱団定期演奏会 ・青梅市青少年吹奏楽団定期演奏会 ・青梅市民合唱団定期演奏会 ・ファミリーコンサート ・ミニコンサート	・市民合唱団 第49回 定期演奏会 実施日 12月14日 観客数 550人 ・青少年吹奏楽団 第45回 定期演奏会 実施日 10月11日 観客数 300人 ・児童合唱団 第37回 定期演奏会 実施日 9月14日 観客数 350人 ・3団体合同 第38回 ファミリーコンサート 実施日 4月13日 観客数 450人	○
	社会教育課	49 市民大学	人文・社会科学・自然科学・産業技術・芸術文化・市民生活・国際関係等の中から現代的課題に対応する学習機会を提供していきます。	・深海8,000mの世界(68人) ・ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展関連文化講演会(113人)  ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 2講座 181人	○
	社会教育課	50 農業食育体験教室・ふれあいまつり販売体験	野菜の栽培や収穫、勝利までの作業を体験し、農作業への関心を持ち理解を深めることを目的に、半年間の体験教室を行います。ふれあいまつりに参加し、野菜の販売体験を行います。 ・東京都農林水産振興財団・青梅食育クラブ共催事業	農業・食育体験教室として全8回の講座を実施し、農業や食育について学んだ。また講座の中で河辺ふれあいまつりに参加し、講座で育てた野菜を販売する体験を行った。 農業・食育体験教室 延べ参加人数 456人	◎

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	社会教育課	51 豊かに生きるための教室・講座等の実施	趣味を広げ、知識・教養を深め、参加者同士の交流を広げるため、人生を豊かにする教室・講座等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者菊作り講習会(64人)</li> <li>・深海8,000mの世界(68人)</li> <li>・THE世界一展ツアー(43人)</li> <li>・親子で科楽！プラネタリウム見学会(41人)</li> <li>・夏のアーツスクール(21人)</li> <li>・夏のサイエンスキッズ5講座(132人)</li> <li>・親子で月食観察会(37人)</li> <li>・クリスマスキャンドル教室(25人)</li> <li>・冬のサイエンスファミリー(43人)</li> <li>・ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展関連文化講演会(113人)</li> <li>・野口健氏講演会(600人)</li> <li>・青島広志講演会(615人)</li> <li>・京谷和幸氏講演会(160人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 初めてのこけだま教室(35人)</li> </ul> ※括弧内は講座の延べ参加人数  合計 18講座 1,997人	◎
	社会教育課	52 生涯学習フェスティバル(釜の淵新緑祭)	新緑の釜の淵公園・郷土博物館・美術館・旧宮崎家・釜の淵市民館を生涯学習サークルの発表の場とし、楽しいイベントを通じた市民の交流の場とします。	生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2014～ 実施日 5月10日、11日 会場 釜の淵公園および周辺施設 延べ参加人数 4,796人	◎
	文化課	53		郷土博物館や旧宮崎家住宅など会場を提供した。	○
	文化課	54 展示(郷土博物館)	収蔵資料を中心に青梅市の歴史や自然を紹介する常設展、寄贈された民具や古文書を紹介する新収蔵品展、郷土の歴史や文化財をテーマとした企画展・特別展を開催します。	常設展「郷土のあゆみ」通年実施 「青梅の学校教育」4月12日～8月3日開催 観覧者数 7,923人 「新収蔵品展2014」8月16日～9月21日開催 観覧者数 2,331人 「青梅線開通120周年」10月4日～12月21日開催 観覧者数 8,329人 「江戸時代の天変地異と青梅」1月10日～3月22日開催 観覧者数 3,928人 以上のとおり企画・特別展示を実施した。特に「青梅線開通120周年」については多くの来館者を集めた。  いずれも会場は郷土博物館	◎
	文化課	55 郷土博物館講座	郷土史関係の資料や展示資料を中心に講演会、解説講座を開催します。	「近代学校教育の幕開け～蒲蘆学校を中心として～」 実施日 7月12日 講師 野村慎三郎 参加人数 23人 会場 市役所会議室  「青梅線開通120周年記念」・「奥多摩の開発と青梅鉄道」・「戦間期の青梅鉄道」 実施日 11月2日 講師 梅田定宏・保坂一房 参加人数 80人 会場 市役所会議室	○
	文化課	56 文化財の調査保護	市内の新たな歴史発掘のため、各種文化財等の調査を実施するほか、指定文化財の保存事業として、文化財所有者に対する修理補助を実施します。	古文書調査：武蔵御嶽神社、御師家古文書調査  文化財保存修理補助事業 ・今井氏の墓(墓石修理) 補助額 1,670千円 ・成木石灰所久保遺跡(墓石土台修理) 補助額 144千円 ・鹿島玉川神社獅子舞(衣装修理) 補助額 290千円 ・野上春日神社獅子舞(衣装修理) 補助額 81千円 ・天之社獅子舞(道具修理) 補助額 13千円 ・大背戸のカン(枯枝伐採) 補助額 13千円 ・福島家住宅(外装・内装修理) 補助額 845千円	○
	文化課	57 文化財の紹介・普及	文化財等の解説を広報などに掲載します。また、市内の文化財を歩きながら見て回る事業を実施し、加えて文化財解説ボランティアを養成し、その解説活動を支援します。	青梅市広報の毎月15日号に「ふるさとの文化財」を掲載。「青梅市文化財ニュース」を毎月発行し、市民センター等で配布。「文化財指導員報告書」を毎年刊行し郷土博物館にて販売を実施。 その他、老壮大学等主催の各種講演会等に文化財保護指導員が講師として招かれており、文化財の普及活動に精力的に取り組んでいる。  文化財解説ボランティアは総勢11人で、団体来館者や市内小学校児童に対する解説活動を精力的に実施している。	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	文化課	58 実技講座 (美術館)	絵画や版画の実技を通して、美術に親しんでいただきます。市民を対象に年2～3講座実施します。	実技講座 ・夏休み宿題おたすけ隊1「オリジナル草ハガキ作り～どんな草でも紙になる！～」(小・中学生対象) 講師 塩野圭子氏ほか3名(青梅アート・ジャム出品作家) 実施日 8月2日 参加人数 29人 ・夏休み宿題おたすけ隊2「かんたんおりもの作り～いろんな布やヒモで飾り布を作ってみよう！～」(小・中学生対象) 講師 鈴木寿一氏ほか3名(青梅アート・ジャム出品作家) 実施日 8月3日 参加人数 15人 ・「日本画模写体験」(一般対象) 講師 平野健太郎氏(日本画家) 第1回 実施日 10月15日、17日 参加人数 16人 第2回 実施日 11月1日、3日 参加人数 18人	◎
	文化課	59 常設展 (美術館)	【内容変更】 青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品を常時展示紹介します。	青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品をコレクションから適宜抄出して、常設展示コーナーに小島作品6点、藤本作品4点程度を展示した。また、企画展等の日程に合わせて、7回展示替えを行った。 ※市役所2階展示コーナーに小島善太郎、藤本能道の作品を展示した。年4回展示替えした。	○
	文化課	60 特別展・企画展 (美術館)	【内容変更】 一定のテーマに従い、画家や版画家の回顧展、分野や時代別の展覧会を開催します。(企画展は、館蔵品を活用し、一定のテーマに従って作品を抄出し、展示します。特別展は原則、他の美術館等から作品を借用して展示する展覧会で、隔年で開催します。共催展は、美術館と他団体との共催事業です。)	・企画展「版画の底力Ⅱー深沢幸雄の世界ー」1作家 64点 会期 4月12日～5月25日 観覧者数 859人 ・企画展「郷土ゆかりの作家展ー小島善太郎と藤本能道ー」2作家 87点 会期 6月7日～7月13日 観覧者数 913人 ・共催展「2014青梅アート・ジャム 作家のアトリエ」13作家 会期 7月19日～8月31日 観覧者数 865人 ・特別展「開館30周年記念 館蔵日本画名品選 花の色 風の音」27作家 31点 会期 9月20日～11月3日 観覧者数 3,476人 ・共催展「アートプログラム 青梅2014 まなざしを織る」10作家 50点 会期 11月8日～12月7日 観覧者数 953人 ・企画展「木と美術ー木を描く、木を彫る、木に施すー」22作家 39点 会期 12月13日～12月28日 観覧者数 364人 ・共催展「青梅市小学校造形作品展」約1,000点 会期 1月31日、2月1日 観覧者数 3,661人 ・共催展「明星大学造形芸術学部卒業・修了制作選抜展2015」23作家 21点 会期 2月14日～2月22日 観覧者数 297人	◎
	文化課	61 ビエンナーレOME	東京都全域を対象に、多くの優れた新人画家の発掘をめざす公募展を隔年で開催します。	東京都在住・在勤・在学者を対象に平面作品(日本画・洋画・版画・その他)を公募し、入選作品を展示した。 応募者数 57人 作品数 57点 選考期日 1月15日 選考委員 中島千波(画家)、野地耕一郎(美術評論家)、佐々木里加(画家) 選考結果 大賞 1点、準大賞 1点、佳作 3点、入選 18点 公募展「ビエンナーレOME2015」の開催 会期 2月28日～3月22日 観覧者数 812人	○
	文化課	62 美術講演会	画家や美術評論家を講師に迎え、美術に関する講演会を開催し、美術の関心を深めていただきます。	企画展講演会 「小島善太郎作品の修復について」(一般対象) 講師 和田玲子(山領絵画修復工房 修復家) 企画展「郷土ゆかりの作家展」に合わせ、小島作品の修復を担当した専門家による、「修復」という仕事についての講演会を開催した。 実施日 6月29日午後2時～3時 参加人数 36人	◎
	文化課	63 市民映画会	広いジャンルの話題作・名作を上映します。	・僕らのワンダフルデイズ 実施日 5月17日 入場者数 271人 ・子ども映画まつり ～日本の昔話と民話～ 実施日 8月3日 入場者数 393人 ・小川の辺 実施日 10月4日 入場者数 568人 ・英国王のスピーチ 実施日 2月7日 入場者数 647人	○
文化課	64 市民劇場	芸能の各分野で活躍しているプロを招いて、身近に鑑賞することにより教養を高めます。	・ピリーヴォーン・オーケストラ2014 実施日 7月28日 入場者数 570人 ・林家木久扇・木久蔵・親子会 実施日 9月27日 入場者数 446人 ・サーカスコンサート2014 実施日 12月13日 入場者数 575人 ・東儀秀樹コンサート 実施日 2月28日 入場者数 588人	○	



施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	中央図書館	65 中央図書館講座等	図書館の広報と利用者サービスの拡充を図るため、原画展や講演会などを実施します。	市民の教育と文化の向上を図るための学習機会を提供するため、次のとおり各種事業を実施した。 ○常設展示(3階フロア) ・「むかしむかしあるところに～むかしばなしの世界～」 4月1日～5月25日 ・「拝啓 お元気ですか」 6月4日～7月31日 ・「こんなに可笑しい江戸の暮らし」 8月1日～9月30日 ・「カメラ散歩～お気に入りのカメラを持って出かけよう～」 10月1日～11月30日 ・「わたしのおすすめの本」 12月2日～2月1日 ・「手のひらサイズの教養書～こんなにももしろい新書の世界～」 2月3日～3月29日 ○特別展示(多目的室) ・味戸ケイコ原画展 11月19日～11月30日 1,370人 ○市民講座 ・「近代学校教育の幕開け～蒲葦学校を中心として～」 7月12日 参加人数 23人 ・「老化予防のヒント～読書により健康で豊かな生活を～」 8月22日 参加人数 28人 ・「星空へのお誘い～秋のお月様と星空について～」 9月28日 参加人数 35人 ○論語講座 5月11日～2月8日 参加人数 265人 ○文学講座 ・「一千年目の『源氏物語』～読み継がれる魅力～」 11月1日 参加人数 36人 ○朗読会 ・この指とまれ朗読会 6月14日 参加人数 78人 ・「平家物語を遊ぶ」朗読会 11月2日 参加人数 57人 ○釜の淵新緑祭おはなし会 5月11日 参加人数 60人 ○～おはなしの世界を楽しむ～ 青梅おはなしの会と国立市「だんろの会」によるおはなし会 6月21日 参加人数 47人 ○すばらしい紙芝居と演じ方講座 9月20日 参加人数 19人 ○大人向けおはなし会 1月17日 参加人数 45人 ○修理講習会 9月18日、10月29日 参加人数 23人 ○読書推進特別映画会 10月25日 参加人数 66人 ○映画鑑賞会～ろう者と共に生きる社会を目指して～ 12月14日 参加人数 27人 ○耳で観る映画「シネマ・デイズ体験学習会」 3月8日 参加人数 30人	◎
	中央図書館	66 工作及び手芸教室	工作などを通じて手作りの楽しさ、創造することのおもしろさを体験する各種教室を実施します。	・「夏のリース作り」 実施日 8月9日、8月21日 参加人数 62人	○
	中央図書館	67 上映会	中央図書館所蔵の視聴覚資料を上映し、映画会を行います。	・「禁じられた遊び」 実施日 6月28日 参加人数 35人 ・8月23日 第1回「うっかりペネロペ」 参加人数 45人 第2回「おばけのラーバン」 参加人数 43人 ・12月21日 第1回「つるの恩返し」、「泣いた赤鬼」 参加人数 52人 第2回「第三の男」 参加人数 30人 ・「トムとジェリー」 実施日 3月29日 参加人数 70人	○
	選挙管理委員会	68 明るい選挙推進講演会	明るい選挙を推進していく観点から、明るい選挙推進委員および一般市民を対象に、講演会を開催します。	理由：平成26年度は、急きよ、衆議院議員選挙が執行されたことにより、講演会が実施できなかった。 今後の改善策：今後も、明るい選挙について広く市民に理解してもらうことを目標とし、講演会を開催する。	×
	農業委員会	69 親子農業体験会	田植え・稲刈りといった農作業を体験していただき、市民と市内農業とのふれあいを図ります。	田植え 実施日 6月14日 参加人数 20人(10家族) 稲刈り 実施日 10月18日 参加人数 21人(11家族) 圃場所在地 藤橋2丁目 講師 農業委員会経営部会	◎
青梅市吹上中学校	70 本物にふれる会	子どもたちに本物の文化・芸能にふれることを目的に、古典芸能の鑑賞教室を実施します。保護者および近隣の自治会・地域住民にも参加を呼びかけます。毎年10月実施	(公財) 青梅佐藤財団の援助により「アンサンブルプラムス」を招いて鑑賞教室を実施した。また、吹上中学校吹奏楽部との合同演奏も行い交流を図った。 実施日 10月18日 参加人数 生徒 200人 保護者・地域住民 120人 教職員 20人	◎	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価	
(2)の学習機会に生きるため	青梅市青少年協議会	71	ますつりにチャレンジ	青梅の自然を生かし、川でますを釣ってさばき、食べるまでを、体験してもらいます。	「ます釣りにチャレンジ！2014」実施 実施日 5月11日 会場 成木市民センターほか 参加人数 41人	○
		72	集まれおうめつ子	竹・炭火・森など毎年テーマを変え、子ども達が自然に触れる機会を提供します。	「集まれおうめつ子！林の巻」 実施予定日 3月1日 会場 風の子太陽の子広場 申込人数 40人  理由：雨天により中止となったため。 今後の改善策：雨天時のプログラムを予め計画し、雨天でも実施できるようにする。	×
(3)共に生きるための学習機会の充実	秘書広報課	73	平和の写真展の開催	世界の恒久平和を希求することをテーマとした写真展を開催し、市民が平和について考える機会とします。	・藤原紀香写真展 実施日 12月13日～25日まで 会場 青梅市立美術館市民ギャラリー 入場者数 555人 ・藤原紀香平和講演会「～今の自分に出来ること～」 実施日 12月14日 会場 青梅市民会館ホール 参加人数 512人	○
	秘書広報課	74	国際交流活動支援	国際交流団体の国際交流事業に対する補助(国際交流基金)等の支援を行い、活動の活性化を目指します。	市内の国際交流団体に対して補助金を交付した。 ・海外派遣事業 1団体 ・語学研修事業 3団体 ・文化交流事業 1団体 ・その他の事業 1団体	○
	秘書広報課	75	通訳ボランティア	青梅マラソン大会参加外国人選手の通訳を、ボランティアの協力を得て、国際的な交流の輪が広がるよう支援します。	2月14日、15日の2日間、青梅マラソンの外国人選手に対し、通訳語学ボランティアの協力を得て、支援した。 ・英語ボランティア 3人 ・中国語ボランティア 2人	○
	企画政策課	76	男女平等講座の開催	男女平等参画の視点に立った講座を実施します。	男女平等参画の意識啓発のため、各種の啓発講座を開催するとともに、「市民のくらし展」や市役所・市民センター等でパネル展を実施し、啓発を図った。	○
	企画政策課	77	女性の就業支援	働く女性の能力開発および就業意欲向上のための講座を開催し、情報提供を行います。	ハローワーク青梅および商工観光課と共催で、これから働こうとする女性を対象とした「女性の再就職支援パソコン講座(エクセル初級)」を開催した。 また、商工観光課と共催で、働く女性を対象とした「働く女性のスキルアップパソコン講座(エクセル関数)」を開催した。	○
	市民センター	78	老壮大学	教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講演会・講習会を行います。 青梅老壮大学、調布ことぶき大学、霞老壮大学、梅郷老壮学園、小曾木老壮大学、東青梅老壮大学、河辺老壮大学	(青梅老壮大学) 教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講座、歌謡祭、研修視察(年2回)をおこなった。(青梅C)  (調布ことぶき大学) 講演会、芸能大会、日帰り研修等の行事を年11回開催した(長淵C)  (霞老壮大学) 講演会、日帰り研修、宿泊研修等の行事を年間12回開催した。 同大コーラスサークルの毎月の活動を支援した。 冠句の会を年2回実施した。(大門C)  (梅郷老壮学園) 講演会(3回)、映画観賞会、芸能大会、日帰り研修旅行を実施。延べ454人が参加した。(梅郷C)  (小曾木老壮大学) 教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために定例の行事、各種講演会を行った。 毎月、行事、講座を行った。(小曾木C)  (東青梅老壮大学) 事務局として、教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために講演会・研修旅行等の事業を14回、延べ514人の参加を得てを行った。(東青梅C)  (河辺老壮大学) 事務局として、教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講座、講演会等を13回開催し、延べ752人の参加を得た。(河辺C)	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(3) 共に生きるための学習機会の充実	福祉総務課	79 社会を明るくする運動	人々が互いに助け合い、希望を持って生きることのできる明るい社会を目指して、座談会やチラシの配布など啓発事業を行います。	青梅市推進委員会を組織し、年度内の取組み内容を決定。 おうめ健康まつりで、ティッシュと絆創膏を配布しPR活動を実施。強調月間の7月1日、市役所で出発式を行い、河辺駅、東青梅駅、青梅駅で保護司や地域の中学生による啓発活動を実施した。 各地域で、保護司や青少年対策委員等の協力を得て、市民センター等で座談会やミニ集会を開催し啓発活動を実施した。 市民プールや図書館においてもPR活動を実施した。	◎
	高齢介護課	80 家庭介護DVDの貸出し	在宅の介護者やボランティアの方々の活動を支援するために、介護等のDVDを無料でお貸しします。	家庭介護のためのDVD等の貸し出しを行った。 利用者数 1人 利用本数 1本	○
	高齢介護課	81 認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する。認知症サポーターを養成するための講師を派遣します。また、認知症サポーターに対し、ステップアップ講座を行います。	・認知症サポーター養成講座 実施期間 4月～3月 9グループ 延べ参加人数 331人 認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進した。 ・認知症サポーター・ステップアップ講座 実施日 2月18日 参加人数 25人 認知症サポーターを中心に、地域においてボランティアでどんな取り組みが考えられるか、様々な形の地域づくりを推進した。	○
	高齢介護課	82 高齢者クラブ健康づくりモデル事業	ウォーキング等を取り入れた健康づくりモデル事業を実施し、地域の高齢者の健康づくり活動への参加と、自発的な介護予防に資する組織の育成・支援を行います。	実施期間 9月～11月 3つの高齢者クラブで実施 御岳清涼会 実人数 24人 延べ参加人数 43人 富岡愛宕会 実人数 24人 延べ参加人数 42人 勝沼寿会 実人数 30人 延べ参加人数 50人 参加者に万歩計と記録ノートを配布し、2か月間ウォーキングを実施。教室開始時と終了時に体力測定(3種)を実施し、ウォーキングの効果を評価し、体力の維持～やや改善という結果がみられた。	○
	高齢介護課	83 家族介護教室	高齢者を介護している家族等を対象として、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等の知識・技術を修得する教室を開催します。	5回実施 延べ参加人数70人 「認知症の妻を実際に介護された御家族の11年の記録」 「いつまでも住み慣れた家で生活していくために」 「音楽療法を介護や介護予防にいかしてみませんか」	○
	障がい者福祉課	84 手話講習会事業	福祉に対する関心を高め、地域福祉を推進するため、手話の初・中・上級講習会を開催します。 初・中級講習会は、新たに障害者団体等と協働で実施します。	青梅市聴覚障害者協会との協働事業にて、初級手話講習会を実施。また、社会福祉協議会への委託にて、上級手話講習会をした。	○
	障がい者福祉課	85 点字図書給付事業	視覚障がい者の方に、点字図書を給付し、その活動を支援します。	視覚障がい者の方に、点字図書を給付し、その活動を支援した。	○
	障がい者福祉課	86 身体障がい者自動車運転教習事業	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行います。	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行った。	○
	障がい者福祉課	87 相談支援事業	市の窓口で、障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うことで社会生活の自立に向けた支援をします。	設置場所 市役所障がい者福祉課、青梅市障がい者サポートセンター、青梅市障害者就労支援センターで実施。 ・市役所障がい者福祉課 実利用人数 973人 ・障がい者サポートセンター 延べ相談件数 5,981件 ・障害者就労支援センター 延べ相談件数 4,078件	○
障がい者福祉課	88 意思疎通支援事業	意思の疎通が困難な重度聴覚障がい者の方に対して、公共団体等が主催する行事などに手話通訳者・要約筆記者を派遣します。	意思の疎通が困難な重度聴覚障がい者の方に対して、公共団体等が主催する行事などに手話通訳者・要約筆記者を派遣しました。	○	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(3) 共に生きるための学習機会の充実	障がい者福祉課	89 青梅市障がい者サポートセンター事業	障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行い、障がいのある方の創作活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等を行います。また、障がいのある方やその家族、障がい者団体等が活動する場を提供し、障がいのある方の自立の促進を図ります。	条例・規則に定めた支援を実施した。 ・相談支援 延べ相談件数 5,981件 ・創作活動や生産活動 延べ参加人数 4,116人 ・施設貸出し 延べ利用人数 5,685人 ・生活支援(パソコン指導・療育指導) 延べ人数 184人	○
	障がい者福祉課	90 中等度難聴児発達支援事業	身体障がい者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援します。	身体障がい者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援しました。	○
	社会教育課	91 国際理解講座	1 世界に広がる教室 次代を担う青少年(小学4年生～高校生)のために、国際的な視野と教養が身につくよう支援します。(英会話と文化講座) 2 外国人日本語講座 日本に来て間もない外国人の日本語理解の手助けをします。(正しい日本語の学習「音声・文字・助詞」)日本語が話せない方には、日本語学習グループを紹介します。	・小学生講座 実施日 5月24日～3月7日(全20回) 内容 英会話講座、文化講座 参加人数 小学校4年生29人、小学校5年生26人、小学校6年生17人 計72人 ・中学・高校生講座 実施日 5月24日～3月7日(全20回) 内容 英会話講座、文化講座 参加人数 中学1年生6人、中学2年生4人、中学3年生5人、高校1年生1人 計16人 ・外国人日本語講座 実施日 5月7日～11月29日(全24回) 内容 正しい日本語の学習、音声、文字、助詞 参加人数 20人	○
	社会教育課	92 ともに生きるための教室・講座の企画運営	地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。 高齢者の生きがい、男女平等、人権平和・国際理解、障がい者の学びの場を実現し、地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。	・「わたし」らしく！仕事も家庭も女子力UP講座(76人) ・これからの人生を楽しむための水彩スケッチとその活用術2014(81人) ・国際理解講座公開講座(70人) ・ゲームで知ろう！わたしのコミュニケーション・タイプ(22人) ・楽しく豊かな人間関係を築く！対話力UP講座(71人) 青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 ・英語で楽しむメキシカン料理(26人) ・英語で楽しむkidsの料理教室(17人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 7講座 363人	○
社会教育課	93 生涯学習まちづくり出前講座	市の施策や事業等をテーマに、市職員等が市民のところへ出向いてお話しする出前講座を実施し、市民が自分達のまちについて学ぶ生涯学習の機会を提供します。	講座名「青梅の姉妹都市～ポツパルトについて～」 以下56講座 17部署(健康課以下13課・青梅消防署・青梅警察署、西多摩保健所、行政書士会多摩西部支部) 延べ受講者数 2,361人	◎	
(4) 健康やかに生きるための学習機会の充実	スポーツ推進課	94 各種体操教室	市民の健康・体力づくりを目的とした各種体操教室を総合体育館および健康センターで実施します。幼児、小学生、親子、勤労者、女性、中高齢者など、対象別の各種教室を企画開催し、参加者にとって魅力のある教室の運営を図ります。	・長期教室 ホップステップ体操、シェイプアップ体操、はつらつ体操、のびのび体操、男性のためのヘルシー体操、フレッシュアップ体操、リフレッシュ体操、レッツゴー！こども体操 ・短期教室 幼児体操、ヘルシーナイトエクササイズ、健康・体力づくりトレーニング 会場 総合体育館第3スポーツホール 延べ参加人数 15,126人(424回開催)	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	スポーツ推進課	95 青梅マラソン大会	スポーツを通じてボランティアをする機会を提供します。 全国の市民ランナーと国内外の招待選手が青梅に集い、マラソンを通して選手と市民がスポーツ・文化交流を深めます。 30キロの部、10キロの部	実施日 2月15日 参加人数 14,946人 30キロの部 11,535人 10キロの部 3,411人	◎
	スポーツ推進課	96 有酸素運動普及事業	気軽にできるウォーキングやノルディックウォーキング等の有酸素運動の教室を、ウォーキングモデルコース等を利用して開催し、市民の体力・健康の維持増進に寄与します。	1,000万歩達成者1人に記録証・記念品を交付した。 ウォーキング教室 1回開催 参加人数 17人(1回中止) ノルディックウォーキング教室 1回開催 参加人数 28人(1回中止) ウォーキングフェスタ 参加人数 270人	○
	スポーツ推進課	97 スポーツ・レクリエーションフェスティバル	スポーツ・レクリエーション活動を全市民的な規模で実践する場を提供することにより、市民一人一人の活動への参加意欲を喚起し、生涯スポーツを振興します。	実施日 10月13日(体育の日) 会場 総合体育館ほか体育施設 参加人数 2,512人	○
	スポーツ推進課	98 市民体育大会	市民の体力づくりと技術の向上を図ることを目的として、青梅市体育協会に委託し、各種大会を実施します。	種目 28種目 参加人数 8,510人	○
	スポーツ推進課	99 奥多摩溪谷駅伝競走大会	箱根駅伝に次ぐ伝統を誇る大会で、200チーム以上が冬の奥多摩路を疾走します。 一般・大学・高校の部・・・44.8キロ(6区間) 女子の部・・・11.1キロ(3区間)	実施日 12月7日 参加チーム数 214チーム	○
	スポーツ推進課	100 屋内温水プール開放事業	市内にある民間温水プールを借り上げ、年間を通じた市民の健康、体力づくりの場として提供します。	実施日 毎週日曜日 48回開放 利用人数 大人 938人 小人 551人 合計 1,489人	○
	高齢介護課	101 介護予防講演会	介護予防に関する基本的な知識の普及啓発のため講演会を開催します。	2回実施した。 実施日 7月17日 会場 中央図書館 参加人数 50人 「いきいき生活のすすめ」野本医院 野本正嗣医師 実施日 2月17日 会場 市民会館 参加人数 44人 「いつまでも現役生活。今日からはじめる介護予防」大久野病院進藤晃医師	○
	高齢介護課	102 自主グループ育成支援	高齢者が身近な地域で元気に自立した生活を続けるために、自主的に介護予防を目的とした運動などを行うグループ活動やそれを担うグループリーダーの育成を支援します。	二次予防事業のなかの運動機能向上教室の参加者が教室終了後も継続的に運動ができるように自主グループ作りを支援。平成26年度は教室終了後に1か所自主グループを立ち上げ、自主的な活動につなげている。 また新規事業として介護予防リーダー養成講座を実施し、地域のために体操などを行ってくれる介護予防リーダーを養成した。 介護予防リーダー養成講座 実施期間 9月～12月 実人数 40人 延べ参加人数 546人	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	高齢介護課	103	健康づくりや閉じこもり予防を目的とし、健康チェックや軽体操、ミニ健康講座等集団での健康づくりを行います。	会場 健康センター はつらつ教室 65歳以上 イキイキ教室 65歳以上で体力に自信のない方 回数 全48回 実人数 53人 延べ参加人数 508人	○
	健康課	104	機能訓練	・はつらつ教室 半日実施(年間24回)、延べ参加人数:246人 対象者:概ね65歳以上で体力に自信のある者 ・いきいき教室 半日実施(年間24回)、延べ参加人数 262人 対象者:概ね65歳以上で体力に自信のない者 ・体力づくり教室 半日実施(年間24回)、延べ参加人数 291人 対象者:40～64歳の者 健康づくりのための運動やミニ講座、参加者間の交流にも視点を置き、教室終了時には参加者同士が連絡先を交換をする等、地域に戻す取り組みもできた。	○
	健康課	105	おうめ健康まつり	医師による健康相談、健康チェック、歯科相談、展示、体験等のコーナーや健康講演など、市民一人一人が楽しく家族ぐるみで健康づくりを学べる催しです。 青梅市三師会と共催で「家族ぐるみの健康づくり」をテーマに、第45回おうめ健康まつり(旧市民健康の集い)を開催した。 実施日 5月18日午前10時～午後3時 会場 青梅市役所(1階ロビー、2階会議室) 参加人数 7,804人 内容 各種相談、ヘルスチェックやウォキング教室、転倒予防教室など生活習慣病の予防等の各種コーナーの開設や青梅市三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)による講演会を実施した。	○
	健康課	106	健康教育	生活習慣病の予防等に関する教室を開催し、健康づくりや疾病の予防など市民の健康についての学びの機会とします。 26年度は、肥満、糖尿病、脂質異常症においてフォローアップ予防事業を実施した。 会場 健康センター、市役所 参加人数 5,084人	○
	健康課	107	健康相談	日ごろ、健康について気になることなどを相談できる機会として、健康センター、沢井保健福祉センター、小曾木保健福祉センターで実施します。 開催場所を拡充したことにより、新規利用者が増えた。また健康にあまり関心がないと思われた者も、予期しない場所での血圧測定や相談の実施により、健康への関心を高めることができた。 会場 健康センター、沢井保健福祉センター、小曾木健康福祉センター、市役所ロビー、中央図書館 延べ相談者数 2,011人  ※第3回「大多摩B級グルメ」(市役所駐車場)と同日に開催	○
総合病院管理課	108	おうめ健康塾	当院の医師・看護師等が講師となり、疾病の原因、治療、予防等について話し、質問にもお答えします。年間6回程度開催します。 「おうめ健康塾」を6回、午後3時から青梅市立総合病院講堂において開催した。 開催日、題名、講師、参加人数は下記のとおり。 ・「家庭でできる床ずれ予防」 実施日 7月5日 講師 皮膚・排泄認定看護師 持田 裕子 参加人数 8人 ・「白内障と緑内障」 実施日 7月26日 講師 眼科部長 森 浩士 参加人数 135人 ・「肺炎の予防と治療」 実施日 10月11日 講師 呼吸器内科 榛沢 理 参加人数 62人 ・「不整脈からの脳梗塞に要注意！」 実施日 11月8日 講師 副院長兼循環器内科部長 大友 建一郎 参加人数 101人 ・「ワクチンで乳幼児を守ろう！」 実施日 11月22日 講師 小児科 高橋 知子、感染管理認定看護師 原 聡子 参加人数 9人 ・「糖尿病とつきあう」 実施日 3月14日 講師 内分泌糖尿病内科 西澤 麻依子 参加人数 50人 ・「下肢動脈疾患について」 実施日 3月21日 講師 循環器内科副部長 栗原 顕 参加人数 150人	○	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	スポーツ推進課	109	市民が健康な生活が送れるよう支援する教室・講座を開催します。 1 短期スポーツ 気軽に楽しく誰にでもできるスポーツ教室を開催します。 (青梅マラソンの走り方教室、少林寺拳法教室、ピラティス教室、ニュースポーツ教室等) 2 長期スポーツ教室 青少年の心身の健全育成を目的とした剣道・柔道教室を、年間を通して開催します。 3 ジュニアスポーツ教室 小学生のスポーツへの関心をより高め、各種スポーツの紹介、体験を通して自身の適性を知り、興味や親しみを持ってもらうことを目的として開催します。 4 アダプテッド・スポーツ教室(障がい者スポーツ教室)を開催し、スポーツに親しむとともに障がいのある方とない方の交流を図ります。 5 各種健康関係教室 熱中症予防講座、スポーツ外傷と応急処置教室や介護予防教室などスポーツ活動中だけでなく日常生活でも役立つ教室を開催します。	・短期スポーツ教室 15教室、28回(497人) ・アダプテッド・スポーツ教室(旧障がい者スポーツ教室)、2回(79人) ・長期スポーツ教室 柔道教室 延べ243教室(3,443人) 剣道教室 延べ463教室(6,921人) ・ジュニアスポーツ教室(各教室計4回実施) バスケットボール教室(261人) バドミントン教室(170人) 水泳教室(164人) ビーチボール教室(143人) テニス教室(152人) バレーボール教室(269人) 卓球教室(170人) ソフトテニス教室(249人)  ※括弧内の人数は延べ参加人数	○
	高齢介護課	110	健やかに生きるための教室・講座の企画運営	高齢者クラブや自治会などから出前講座を依頼され、実施した。 主に認知症予防や熱中症対策、介護予防のための運動紹介などを実施。 5月15日「老化予防のヒント」 雑学塾 参加人数 29人 5月27日「老化予防のヒント、体操」 小曾木保健福祉センター(自主G:結いの会) 参加人数 10人 6月24日「老化予防のヒント」 富士見会 参加人数 30人 7月22日「今日からできる肺炎予防」 小曾木保健福祉センター(自主G:結いの会) 参加人数 7人 8月22日「老化予防のヒント」 図書館からの依頼 参加人数 28人 2月26日「エンディングノート」 小曾木 高砂会 参加人数 30人 2月27日「老化予防のヒント」 梅郷5丁目自治会館からの依頼(梅郷老壮学園) 参加人数 45人 3月25日「老化予防のヒント」 長淵市民センターからの依頼(調布ことぶき大学) 参加人数 32人	○
	健康課	111		第45回おうめ健康まつりにおいて、熱中症対策のミニ講座を行った。 延べ参加人数 126人	○
	社会教育課	112		・はじめてのHIPHOP★ダンス教室(65人)  青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 6講座 ・作業療法体験～いきいき体操講座～(56人) ・からだの適応能力UP講座①Let's体操!～笑顔で楽しく動いてみよう～(30人) ・からだの適応能力UP講座②自強術で健康づくり!(20人) ・からだの適応能力UP講座③インナーマッスルを意識した体幹トレーニング(34人) ・からだの適応能力UP講座④ふみであて楽健法体験教室(26人) ・スクエアステップ体験教室(10人)  ※括弧内は講座の延べ参加人数  合計 7講座 241人	◎
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	秘書広報課	113	広聴活動	市政に関する要望、意見、提案等を寄せていただき、市民参画によるまちづくりを進めるために役立てます。  市長への手紙を市内の公共施設を中心に設置するとともに、要望書についても、随時受付を行った。 ・市長への手紙 209件 ・要望書 142件	○
	市民安全課	114	交通公園日曜映画教室	楽しみながら交通安全の知識が得られるように、幼児から親子を対象に交通安全の講話と映画上映を実施します。毎週日曜日  参加人数 547人	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	市民安全課	115 交通公園交通安全教室	楽しみながら安全な歩行や自転車利用法、交通マナーが習得できるように、保育園児や幼稚園児、小学生、高齢者を対象に交通公園で随時実施します。	参加人数内訳 小学生 1,496人 高齢者 196人 幼稚園、保育園児 1,241人 その他団体 437人	○
	市民安全課	116 交通安全講習会	青梅警察署および青梅交通安全協会と連携し、一般市民を対象に市内12か所の会場で、交通安全講話と交通事故防止を目的とした映画上映を行い、交通安全意識の高揚を図ります。春・秋の交通安全運動に先がけて、各12日間実施します。	一般市民を対象に春・秋の交通安全運動に先駆けて、市内12か所の会場で、交通安全に関する講話と交通事故防止を目的とした映画上映を行い、交通安全意識の高揚を図った。 延べ参加人数 779人	○
	市民安全課	117 【新規】セーフティ教室(交通事故再現方式)	交通事故再現方式による自転車安全教育を中学校において行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。	中学校在学中に全生徒が受講できるように実施回数を年3回にした。 ① 605人(第三中学校) ② 133人(内訳:第六中学校 79人、第七中学校 54人) ③ 450人(霞台中学校) 合計 1,188人	◎
	市民安全課	118 専門相談事業	専門相談員による各種専門相談(法律相談・人権身の上相談・行政相談・交通事故相談・登記相談)を実施します。	・法律相談 (相談内容)土地家屋の賃貸借、相続、離婚、債権債務、損害賠償など (相談回数) 80回 (相談件数) 508件 (相談員) 弁護士 ・交通事故相談 (相談内容)交通事故による損害賠償問題、示談および保険手続きなど (相談回数) 24回 (相談件数) 53件 (相談員) 弁護士 ・登記相談 (相談内容) 土地・家屋の不動産や法人登記および境界に関すること (相談回数) 12回 (相談件数) 59件 (相談員) 司法書士、土地家屋調査士 ・身の上相談 (相談内容) 家庭や身の上の悩み事、職場の差別やプライバシー侵害など (相談回数) 14回 (相談件数) 40件 (相談員) 人権擁護委員 ・行政相談 (相談内容)国の行政機関や政令で定める法人の業務に対する苦情や要望など (相談回数) 12回 (相談件数) 6件 (相談員) 行政相談委員 ・相続遺言等暮らしの手続き相談 (相談内容)相続に関する遺産分割協議書、遺言書等の書き方や手続きに関すること (相談回数) 12回 (相談件数) 56件 (相談員) 行政書士	◎
	市民安全課	119 パネル展等	消費者意識の高揚と被害防止を図るため、パネル展示やパンフレットの配布を行い、知識を広げます。22か所	市役所エントランスロビー、市民センター玄関ホール、高等学校、専門学校、大学等において、悪質商法の手口等を紹介したパネル展示を延べ22回実施したほか、啓発冊子の配布を西東京農業協同組合の本支店9か所に依頼した。	◎



施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	市民安全課	120 消費者相談	契約上のトラブル、欠陥商品による被害を受けた場合などの相談を受けることで、市民に消費生活上の知識を広げていただきます。週5日(開庁日全日)	消費者相談は、週5日(開庁日全日)実施し、毎月第2・第4火曜日については、午後6時まで相談時間を延長した。	◎
	市民安全課	121 消費者研修会・セミナー	市民を対象として、日常生活に役立つ身近なテーマを取り上げ、開催します。年20講座	生活知識に関して25講座、環境・資源に関して2講座、食に関して8講座、計35講座開催した。	◎
	市民安全課	122 市民のくらし展	市民生活の安定とコミュニティの大切さを啓発するため実施します。年1回・参加3団体	11月1日・2日の2日間開催した。 参加団体3団体、延べ来場者数 11,000人	◎
	環境政策課	123 親水事業の拡充	市民団体等と協働で、事業体験型や学習型の親水事業を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばれ! あゆっ子2014「稚鮎の放流と多摩川生物の生態系調査」 協働団体 NPO法人奥多摩川友愛会 参加人数 子ども44人、保護者36人</li> <li>・ガサガサ水辺の探検隊 協働団体 青梅・多摩川水辺のフォーラム 参加人数 子ども77人、保護者51人</li> <li>・じゃぶじゃぶ川の中で遊んじゃおー「川は生き物のすみかだ! 遊び場だ! その1」 協働団体 霞川くらしの楽校 参加人数 子ども78人、保護者35人</li> <li>・第7回子どもカヤック体験教室 協働団体 美しい多摩川フォーラム 参加人数 子ども23人、保護者7人</li> <li>・多摩川の魚を釣ってみよう「昔懐かしい子どもの釣り体験教室と多摩川魚類生息調査」 協働団体 NPO法人奥多摩川友愛会 参加人数 子ども20人、保護者22人</li> <li>・いかだで遊ぼうin霞川part6「川は生き物のすみかだ! 遊び場だ! その2」 協働団体 霞川くらしの楽校 参加人数 子ども22人、保護者19人</li> <li>・下水処理場の仕組みが学べる見学会 協働団体 青梅・多摩川水辺のフォーラム 参加人数 子ども4人、保護者等6人</li> <li>・第6回炭焼き体験と水辺の交流会 協働団体 美しい多摩川フォーラム 参加人数 子ども28人、保護者20人</li> <li>・多摩川まるごと遊び塾 協働団体 青梅・多摩川水辺のフォーラム 参加人数 子ども72人、保護者49人</li> <li>・川で何でも遊んじゃおー「川は生き物のすみかだ! 遊び場だ! その3」 協働団体 霞川くらしの楽校 参加人数 子ども27人、保護者13人</li> <li>・第6回ふるさと川多摩川親子さかな釣り体験教室 協働団体 NPO法人奥多摩川友愛会 参加人数 子ども32人、保護者31人</li> </ul>	◎
	環境政策課から公園緑地課へ移管	124 市民環境講座	市民の環境への関心を高め、環境施策を推進します。	「青梅の森」市民ボランティア講座を実施していたが、平成26年度から市民団体の自主講座として実施している。	—
	環境政策課	125 環境月間	環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため、各種の啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎6月1日号広報おうめで周知</li> <li>◎6月の環境月間中の「おうめ環境フェスタ2014」をおうめ環境市民会議と協働で実施した。</li> <li>・体験ワークショップ 参加人数 214人</li> <li>・親子野鳥観察会 参加人数 33人</li> <li>・市役所ロビー展示</li> <li>・中央図書館環境図書コーナー</li> <li>・これからのガーデニングのカタチ 参加人数 48人</li> <li>・基調講演「多摩川にあった青梅の渡し」参加人数 34人</li> <li>・親子ホテル観察会参加人数 22人</li> <li>◎3月15日おうめ環境ニュースを発行</li> </ul>	◎

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	清掃リサイクル課	126 ごみ処理施設見学会	市民のリサイクル意識の高揚と啓発のため、リサイクル製品再生工場等の施設見学会を実施します。	・2月25日、東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設および二ツ塚処分場見学、つるつる温泉、日の出山荘 30人	○
	清掃リサイクル課	127 クリーン&スリム大作戦	ごみ減量の啓発および地域の環境美化向上のため、環境美化委員の協力により各地域の美化活動を行います。年2回	5月11日と12月14日の2回実施し、可燃ごみが6.450kg、不燃ごみが3,020kg回収された。	○
	清掃リサイクル課	128 小学生、ごみ減量化・資源リサイクル推進ポスターコンクール	社会問題になっているごみ問題について、その減量化や資源化の大切さを個々に考えてもらうよう、啓発を行います。	小学校12校から98点の応募があり、10月7日に審査会、10月26日に表彰式を行った。入賞作品はロビーに展示し、平成27年度ごみ収集カレンダーの表紙にも使用した。	○
	清掃リサイクル課	129 ごみ減量講座	資源循環型社会の目的理解と、ごみ減量を目指した学習を通して、ごみ問題についての啓発を行います。	ごみ減量をテーマに、ごみ減量講演会(1回)出前講座(11回)等を行い、ごみ減量の意識の向上を図った。	○
	農林課	130 野鳥講座	野鳥についての講義や観察を通じて、森林や自然環境保護の大切さを学びます。	テーマ はじめてみませんか、バードウォッチングin御岳渓谷 内容 野鳥に対する講義およびバードウォッチング 実施日 1月31日 会場 御岳交流センター、御岳渓谷 参加人数 18人 指導 日本野鳥の会奥多摩支部	◎
	社会教育課	131 暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	日常生活や環境を考え、暮らしに役立つ工夫やヒントを得る機会としての教室・講座を開催します。	・平成26年度農業・食育体験教室(456人) ・子ども食育教室～農業体験と手づくりアイスクリーム～(53人) ・ぶらり歴史散歩～新緑の御岳と歴史～(23人) ・ぶらり歴史散歩～河辺の歴史をたどる～(28人) ・青梅まちづくり工房～若梅コース～(82人) ・青梅まちづくり工房～福梅コース～(130人)  ※括弧内は講座の延べ参加人数  計 6講座 延べ参加人数 772人	◎

### 3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 地域コミュニティ活動への支援	防災課	132 総合防災訓練	大地震による震災を想定した各種訓練のほか、避難訓練、初期消火訓練など住民参加型の訓練も実施し、防災意識の高揚を図り、防災知識や体験を深め、助け合い、協力し合う自主防災まちづくりを目指します。	市および関係防災機関、市民等が一体となって防災訓練を行うことにより、機関相互の協力体制の緊密化と防災計画の運用習熟化を図り、併せて市民の防災意識を高めることを目的に訓練を実施した。  実施日 8月31日 午前8時から10時 会場 市立成木小学校校庭 参加機関 (1)青梅市 (2)防災関係機関:青梅警察署、青梅消防署他24機関 (3)協力団体等:地元自治会、青梅LPG協会、青梅アマチュア無線クラブ、災害時支援ボランティア、成木小学校、七中学校、(株)マミーマート、(株)カインズ 参加人数 640人(34機関)	○
	防災課	133 防災ハンドブックの作成・配布	市民への防災知識の普及および啓発のため、防災ハンドブックを作成し、配布します。市民の自助・共助の精神を養い、災害に対応できるよう支援します。	災害への被害を最小限にとどめるため、災害発生時の行動や避難施設、土砂災害警戒区域等を記載した青梅市民防災ハンドブックを70,000部作成し、平成27年3月市内全戸へ配付した。	○
	市民活動推進課	134 市民活動災害補償制度	市民活動団体等が、活動中に不測の事故により、参加者や第三者に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うことになった場合または参加者が負傷等された場合に保険で補償する制度を実施します。	市民活動災害補償制度にもとづき、保険請求に係る事務手続きを行った。(市民活動推進係) 受付件数 傷害 26件 賠償 1件 計 27件	○
	市民センター	135 自主学習グループ支援	自主グループが学習活動を継続できるよう、活動場所や資料作成のための印刷機などを提供するほか、日ごろの活動成果の発表の場として、市民センター文化祭などを開催します。	自主グループの活動場所として会場の貸出し、印刷機の貸出しなどを行った。  自主グループおよび地域の住民とともに、日頃の活動発表の場として市民センター文化祭を実行委員会とともに開催した。  ・青梅市民センター文化祭 ・長淵市民センターまつり2014 ・大門市民センター文化展 ・梅郷地区総合文化祭 ・三田地区総合文化祭 ・小曾木地区文化祭 ・成木地区文化祭 ・東青梅市民センターコミュニティ文化祭 ・新町末広地区市民文化祭 ・河辺市民センター文化祭 ・今井市民センター文化展・ふるさと祭り	○
	市民センター	136 支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	地域活動がスムーズに行われるよう、地域に密着した施設として、会場や備品・用具の提供などにより、地域活動が発展するよう応援します。 地区運動会、各種スポーツ大会、講演会、研修旅行、総会・役員会など	・地域活動が円滑に行なわれるよう、支会、自主防災組織等各種団体の事務局として、また地域に密着した施設として、会議等活動の支援および会場、備品、用具の提供などの面で地域活動が発展するよう応援した。  ・地区運動会等の地域行事および各団体の総会、役員会開催のほか、高齢者団体等の地域活動を積極的に支援した。  (主な地域活動) 視察研修、地区運動会、ビーチボール大会、地区防災訓練、防犯・環境巡回パトロール、盆踊りほか。	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 地域コミュニティ活動への支援	スポーツ推進課	137 青梅型地域スポーツクラブ	「本市の自然環境をいかしたスポーツの推進」を図り、スポーツを通じた「青梅らしい」スポーツの機会を拡充します。青梅型スポーツクラブは、スポーツだけにとらわれず文化的側面等もふまえた教室・イベントを展開し、青梅の魅力に触れる機会を増やします。 例 青梅の森において、ノルディックウォーキングをつかった自然(森)の観察会など	7月1日に本市初めてとなる「地域スポーツ文化交流クラブ御岳」を設置 スポーツをつじた地域交流、スポーツをつじたまちおこしをモットーにカー、ボルダリング、ヨガ、ラフティング等のスポーツをはじめ、文化企画・交流企画を模索中。 8月21日には、交流自治体である東京都杉並区との交流イベントも開催。	◎
	スポーツ推進課	138 地区市民運動会等支援	青梅市自治会連合会の各支会、地区体育振興会、三団地連絡協議会等に対し、地区市民運動会等交付金を交付し、地区体育の振興とコミュニティの醸成を図ります。	交付団体数:14団体 交付金額:13,778,000円 ※要綱にもとづき、5月と9月に交付  課題:参加者の高齢化、固定化に伴い本来の地域交流という趣旨から乖離してきている。 今後の改善策:コミュニティ助成金と一元化するなど、自治会・支会の活用自由度のある補助金に変更等を検討する。	△
	清掃リサイクル課	139 環境美化大会	ごみ減量を中心に、市の環境衛生美化推進のため、環境衛生善行者・団体等への表彰と講演会を行い、地域における市民活動を支援します。	環境美化委員をはじめ、環境美化善行者・優良団体等の表彰を行い、「繊維のリサイクルについて」と題した講演会を実施した。	○
	清掃リサイクル課	140 資源回収の奨励	自治会、子ども会等の地域活動の一環として、資源のリサイクルの必要性を認識し、リサイクルの促進に取り込み、ごみ減量を図ります。	136団体が実施 資源回収量は4,282,209.7kg。 報償金42,176,269円、特別報償金4,256,455円を交付した。	○
	社会教育課	141 社会教育関係団体補助	市内の社会教育関係団体に補助を出し、その活動を支援します。	青梅市文化団体連盟23団体 青梅ボーイスカウト連絡協議会3団体	○
	文化課	142 総合文化祭	青梅市文化団体連盟との共催により、市民の日ごろの学習成果発表の場として、各参加団体の舞台発表や作品展示等の総合文化祭を開催します。	・総合文化祭開催 実施期間 10月3日～11月23日 参加団体 30団体 参加人数 11,334人(観覧者含む)	○
	吹上中	143 落ち葉掃き等ふれあい活動	・学校周辺の落ち葉やゴミの回収、学校・地域の美化活動に努めます。 ・活動を通して身近な環境について考える機会とします。 ・保護者、地域の人々と活動を共にすることにより地域の人々とのふれあいを深めます。毎年12月実施	学校周辺の美化を地域住民と一緒にを行い、清掃後は保護者による豚汁の配布も行った。また、清掃で集めた落ち葉の譲り先である農家から提供してもらった野菜を使って、豚汁を作り配布した。 実施日 12月20日 参加人数 生徒 200人 保護者・地域住民 70人 教職員 20人	◎

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価	
(2) 地域人材の育成と活用	商工観光課	144	合同企業説明会in青梅 『地学地就』(地元で学んで地元就職する。)をテーマに、多摩地域の学生と、新卒採用する企業との出会いの場を提供します。	・合同企業説明会in青梅 実施日 10月9日 会場 青梅市総合体育館 参加人数 76人	◎	
	防災課	145	自主防災組織の主体的な活動の要となる防災リーダーについて、計画的な育成を図ります。	・自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費を8組織に交付した。 ・防災リーダーの育成を目的とした防災リーダー講習会を実施し、防災士の資格を取得した8人を含む66人が参加、防災リーダーの育成を図った。	○	
	市民センター	146	子ども会の最上級生となる小学校6年生を対象に、子ども会リーダーのあり方や行事計画の立て方、ゲーム指導などの講習会を行い、下級生の面倒を見ながら、子ども会活動ができるようにします。	・地域PTAの協力のもと、地区青少年委員を講師にジュニアリーダー講習会を実施した。(長淵C) ・青少対が中心となり、小中学生を対象にジュニアリーダー講習会を年3回実施した。(小曾木C) ・青少対と協力してジュニアリーダーキャンプ(1泊)や天然の青竹をつかった流しそうめん、成木川でマスのつかみ取り、成木川の水生生物の探索教室などの講習会を行い、子どもたちが主体となって下級生の面倒を見ながら、楽しく子供が交流できるようにした。(成木C) ・ジュニアリーダー講習会を実施し、ジュニアリーダーの育成に努めた。(東青梅C、新町C)	○	
	市民センター	147	子ども会育成会役員などを対象に、子ども会活動のあり方や運営のポイント、レクリエーションのポイント等について研修会を行い、地域子ども会活動の活性化を図ります。	ジュニアリーダー講習会と同日に子ども会育成指導者学級を開催し、地域子ども会活動の活性化を図った。(東青梅C)	○	
	市民センター	148	地域の特性を生かした事業	各市民センターにおいて、その地域の特性を生かした講座・教室などを実施します。 ・古典文学講座、文化祭を実施した。(青梅C) ・子どもたちのお話し会、調布ことぶき大学、ジュニアリーダー講習会、そば打ち教室を実施した。(長淵C) ・地域を知り、地域の人との交流を深める目的で地域散歩、そば打ち教室、お庭づくり教室、クリスマスリース作り教室を実施した。 ・高齢者の体操教室を支援した。(大門C) ・梅郷ホテルウォッチング、ふるさと探訪「多摩川南岸を歩く」を実施した。(梅郷C) ・軽度な体操やレクリエーションを通じて健康な心身を作るとともに、参加者の交流を図るため、65歳以上を対象に「らくらく健康体操教室」を実施した。(沢井C) ・地元のサークルの協力をいただき、12月に手打ちそば教室を実施した。(小曾木C) ・親子つり体験教室や初心者のかみ作り教室など、成木地区の特性を生かした野外活動を実施した。(成木C) ・地域の神社仏閣をめぐる東青梅ウォーキングを実施した。(東青梅C) ・日々の生活の礎として「健康」と地域社会でのネットワークを広げ新しい出会いの場を作るため、60歳以上を対象に「のびのび健康体操教室」を実施した。(河辺C) ・身近な材料を使って共同作業をすることで、親子の共通の話題を提供し、ふれあいを深める「夏休み親子工作教室」を実施した(今井C)	○	
	スポーツ推進課	149	スポーツ推進委員研修	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修会を実施するとともに、東京都スポーツ推進委員協議会等が主催する研修への参加を促します。	ニュースポーツ、綱引き、障がい者スポーツ等の研修会に参加した。 回数 8回 延べ参加人数 92人 東京都スポーツ推進委員協議会等の研修会に参加した。 回数 4回 延べ参加人数 28人	○
	高齢介護課	150	シルバーマイスター制度	優れた技能、知識、経験等を有する高齢者をシルバーマイスターとして認定・登録し、市民の学習活動の講師や指導者として推薦します。	シルバーマイスターを公募した結果、2名の新規認定者があった。 シルバーマイスターとして5人の活動実績があった。	○

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 地域人材の育成と活用	商工観光課	151 吹上しょうぶ公園・梅の公園ボランティアガイド	花しょうぶまつり・梅まつりの期間中に、市民によるボランティアの協力を得て、園内の案内をしていただくとともに、自然に親しみ、人とのふれあいの場を提供するため、ガイドを募集・講習会を行います。	<p>・吹上花しょうぶ祭り(6月1日～30日) しょうぶ公園ガイドボランティア (1) 講習会の実施 実施日 5月26日(午前・午後) 内容 花しょうぶと周辺ガイド講習会</p> <p>(2) 新規募集 しょうぶ公園ガイドボランティアの新規募集を平成27年1月に実施。2月から月1回の講習会を実施。</p> <p>・吉野梅郷花まつり (梅まつりに代わる花をテーマとしたイベントを実施、3月8日～4月5日) 梅の公園ガイドボランティア (1) 講習会の実施 実施日 3月5日(午前) 内容 梅の公園内の花に関する講習会</p>	◎
	農林課	152 青梅市森林ボランティア育成講座	初心者・未経験者を対象に、下草刈り、枝打ち、間伐などの森林施業に必要な知識や技術習得の講義・実技指導を行い、森林整備の新たな担い手としての森林ボランティアの育成・組織化を図ります。	<p>平成26年度は、第7期の1年目として基礎を中心に実施した。実施に当たっては、第6期に続いて交流協定を結ぶ杉並区からの参加者も受け入れた。</p> <p>第1回 6月14日 開講式、座学、周辺山林視察 26人 第2回 8月9日 座学、木作業、休憩所づくり 24人 第3回 10月11日 原木市場、製材所等の視察 25人 第4回 12月6日 竹林間伐、炭焼き 19人 第5回 1月10日 枝打ち、はしごづくり 17人 第6回 3月14日 植林 18人 延べ参加人数 129人</p>	◎
	公園緑地課	153 緑地管理ボランティア	緑地管理ボランティアを対象とした講習会を開催し、技術や知識を高め、永山公園内緑地を良好な環境に保つボランティアとしての資質の向上を図ります。	<p>実施日 毎月第3土曜日(8月除く)に実施(計11回) 場所 永山公園内ボランティア管理緑地・新田山公園 延べ参加人数 125人 内容 下草刈りおよび支障木伐採等</p>	○
	社会教育課	154 青少年リーダー育成研修会事業	小学5年生から高校3年生までを対象に、異年齢集団による団体活動を通じて、自主性や社会性を養い、リーダーとしての資質の向上を図ります。	<p>6月8日～8月31日 全8回 市役所、国立妙高青少年自然の家ほか 延べ参加人数 299人</p>	◎
	社会教育課	155 講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体人材登録制度	地域の人材を発掘し、身に付けた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施し、地域の教育力の向上を図ります。活用を促進するため、ガイドブックを発行します。	<p>教育委員会ホームページにて情報提供した。 個人 文化系 51人 体育系 13人 団体 文化系 4団体</p>	◎

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(2) 地域人材の育成と活用	文化課	156 芸術文化奨励賞	青梅市の芸術文化の発展を願って、地域で活動されている芸術家の方を発掘し、表彰します。	書道 鈴木信義 第66回毎日書道展(近代詩文書部)「秀作賞」受賞 第56回毎日書道展(近代詩文書部)「秀作賞」受賞 書道 志村明子 第66回毎日書道展(大字書部)「秀作賞」受賞 第56回毎日書道展(近代詩文書部)「秀作賞」受賞 書道 野崎 麗 第29回全国学生書き初め展覧会 硬筆の部 「文部科学大臣賞」受賞 書道 渡辺美優 第26回全国ひらがな・かきかたコンクール 硬筆の部 「文部科学大臣賞」受賞 書道 高橋華楓 第26回全国ひらがな・かきかたコンクール 毛筆の部 「文部科学大臣賞」受賞 書道 下笹瑞季 第37回全国学生書写書道展 席書の部 「文部科学大臣賞」受賞 書道 高橋媛伽 第29回全国学生書き初め展覧会 硬筆の部 「文部科学大臣賞」受賞 書道 羽生彩香 第29回全国硬筆コンクール「文部科学大臣賞」受賞 第37回全国学生書写書道展 公募の部 「文部科学大臣賞」受賞 第29回全国学生書き初め展覧会 毛筆の部 「文部科学大臣賞」受賞 音楽 市立今井小学校 金管バンド部 第19回日本管楽合奏コンテスト「優秀賞」受賞 音楽 市立第三中学校 吹奏楽部 第19回日本管楽合奏コンテスト「優秀賞」受賞 音楽 市立吹上中学校 吹奏楽部 第54回東京都中学校吹奏楽コンクール「金賞」受賞 東京都代表として東日本学校吹奏楽大会出場 音楽 市立泉中学校 吹奏楽部 第54回東京都中学校吹奏楽コンクール「金賞」受賞 東京都代表として東日本学校吹奏楽大会出場 第19回日本管楽合奏コンテスト「優秀賞」受賞  平成24～26年度青梅市芸術文化奨励賞受賞者作品展 実施日 12月20日～12月23日 会場 市民会館展示室 展示者数:19人 入場者数:219人  平成24～26年度青梅市芸術文化奨励賞受賞者演奏会 実施日 12月20日 会場 市民会館ホール 演奏者数:6団体 入場者数:600人	◎
	中央図書館	157 おはなし学習会	おはなし(ストーリーテリング)の初心者で、市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、実践を含めた勉強会を実施します。	・おはなし学習会(初級) 4月25日～1月23日 6回 延べ参加人数 63人 ・おはなし学習会(中級) 4月11日～3月13日 11回 延べ参加人数 83人 ・おはなし勉強会 4月26日～2月28日 6回 延べ参加人数 44人	◎
	中央図書館	158 絵本のべんきょう会	市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、絵本の読み聞かせの実践を含めた勉強会を実施します。	・絵本のべんきょう会 5月16日～2月27日 6回 延べ参加人数 107人	◎

#### 4 学習情報提供と学習相談の充実

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 学習情報提供の充実	秘書広報課	159 広報おうえみの発行	行政情報を中心に、制度や催しのお知らせのほか、市民や市内の出来事などの紹介や市民グループからの情報なども提供します。月2回発行	24回(毎月1日・15日)発行した。 内訳 8ページ1回、10ページ9回、12ページ13回、14ページ1回 1月1日号と2月15日号は、市民の方からの公募による写真等の掲載を行った。	○
	企画政策課	160 男女平等情報紙	市民の関心と理解を深めるため、男女平等情報紙「よつばの手紙」を年2回発行します。	市民等への男女平等参画の意識啓発のため、男女平等情報紙「よつばの手紙」を9月と3月にそれぞれ34,000部発行し、自治会加入世帯および公共施設等へ配布した。	○
	情報システム課	161 インターネットホームページの充実	青梅市について広く周知するため、利用者(閲覧者)にとってより、分かりやすく効果的な情報発信ができるようホームページ機能の充実を図ります。	トップページにシティプロモーションのスライドを表示するとともに、動画による情報発信を開始するなど、親しみやすいホームページとなるよう充実を図った。	○
	市民税課	162 青梅税務署管内小学生による『税を考える週間』書道展	西多摩地区税務協議会主催で、青梅税務署管内の小学5・6年生を対象に、書道作品の募集を行います。 厳正な審査を行い、入賞者を決定、入賞作品の展示会(イオンモール、あきる野市役所、合同庁舎)および表彰を行います。	青梅税務署管内小学5・6年生から4,121点の応募があり、青梅市からは15校1,141人から応募いただき、うち特選 5名、準特選 7名、金賞 11名、銀賞 5名、銅賞 16名、佳作 49名 計93名が入賞した。入賞者の作品については、下記会場にて展示を行った。 ・イオンモール日の出 イオンホール 会期 11月7日～9日 ・青梅合同庁舎(青梅都税支所) 会期 11月11日～14日 ・あきる野市役所1階コミュニティホール 会期 11月18日～21日	○
	防災課	163 土砂災害対策の充実	土砂災害ハザードマップを作成・配布し、危険区域の住民周知を行うとともに、土砂災害対応訓練を実施し、市民の防災意識の高揚と知識の習熟を図ります。	第1・3・10・11支会の土砂災害ハザードマップを作成し、対象区域を有する地域の世帯に対して配布して危険区域の周知を図った。 長淵市民センターほかにおいて、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として土砂災害対応訓練を実施した。 参加人数 802人(土砂災害対応訓練 676人、水防訓練126人)	◎
	市民センター	164 市民センターだよりの発行	市民センターで開催される事業や地域の色々な行事などの話題をお知らせします。	・市民センターだよりを発行し、市民センター行事や支会行事情報の周知に努めた。 ・各支会の行事を青梅市自治会連合会ホームページに掲載を行った。	○
	商工観光課	165 観光CD-R等の貸出し、観光テレホンサービス	青梅市の観光について知っていただき、理解を深めていただくため、気軽に利用してもらえる情報を提供します。	・観光テレホンサービス利用状況 催し物案内、花と紅葉の情報、御岳溪谷・御岳山・吉野梅郷等案内 923件	○
	社会教育課	166 生涯学習だよりの発行	市の各種教室、講座、講演会、イベントや市民グループ・団体および西多摩の関係施設の生涯学習情報をまとめて提供し、市民の学習活動を応援します。 年4回発行(4月・7月・10月・1月)	生涯学習だよりの部数を各回1,500部、年4回発行した。また、教育委員会ホームページにも掲載した。	◎
	社会教育課	167 市民企画講座の募集	まだ、青梅市では開催されることがないような講座の企画を市民から募集し、市民センター等で開催します。	生涯学習推進市民会議企画講座を開催した。 計9講座 延べ参加人数 254人	○
社会教育課	168 社会教育事業の学校への周知	市民センター等で実施する生涯学習事業を積極的に学校へ周知をします。	講座開催ごとに、小・中学校などにポスター・チラシを送付したり、生涯学習だよりを配布して周知した。	○	



施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 学習情報提供の充実	中央図書館	169 図書館報の発行	図書館の事業や新着図書を紹介する図書館報を発行します。	・図書館報 年4回、300部作成、 中央図書館・各分館で配布、また、ホームページへの掲載	○
	中央図書館	170 ブックリストの配布	幼児、小学校(低・中・高学年別)および中・高等学校の児童・生徒に推薦図書リストを配布します。	幼児向けブックリストを、市内幼稚園、幼稚園、保育園を中心に986部配布した。 小学校(低・中・高学年)向けブックリストを、市内の小学校を中心に4,459部配布した。 中学校・高等学校向けブックリストを改訂し、中、高校に4,245部配布した。	◎
	中央図書館	171 分館図書館だよりの発行	新着図書を中心に、特集なども組んだりしながら、市民への推薦図書を楽しく紹介する、図書館だよりを発行します。	・分館図書館だよりの発行 毎月発行(年12回)・各回180部発行 中央図書館・各分館で配布 ホームページへの掲載	○
(2) 充実 学習相談の	社会教育課	172 学習相談	青梅市に登録された講師・指導者等の人材情報や生涯学習施設、講座・催し物、学習グループ等の情報にもとづいて学習相談を受け、市民の学習意欲が活動につながる相談体制を構築します。	窓口で随時情報提供を行うほか、ホームページによる周知を図った。	◎

## 5 生涯学習推進体制の確立

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成26年度取組状況	担当課評価
(1) 推進体制づくり	職員課	173 職員対象啓発事業	「青梅市生涯学習まちづくり出前講座」等の生涯学習の推進を図るため、担当業務に精通する上で必要な研修の受講を支援し、職員の生涯学習に関する意識を啓発します。	業務に必要な知識等の修得を図るため、東京都市町村職員研修所の実務研修に28名、東京都研修所等の公的機関が主催する研修に26名、その他各種研修機関が主催する研修に41名、先進自治体などの視察に26名の職員を派遣した。	○
	社会教育課	174 生涯学習推進本部	市長を本部長とする生涯学習推進本部(行政組織)で、生涯学習推進の目標・基本方針、推進計画を策定し、生涯学習推進施策を全庁的に進めます。	・生涯学習推進本部会議開催数 2回 第一回開催日 4月22日 第二回開催日 10月21日  内容 出前講座の進捗状況、新緑祭の開催について等	○
	社会教育課	175 生涯学習推進市民会議	学識経験者や生涯学習関係団体の代表者等からなる市民組織。市民の声を聴きながら、市と市民の協働で生涯学習推進施策を進めます。また、生涯学習推進市民会議企画講座を実施します。	・生涯学習推進市民会議開催数 3回  ・生涯学習推進市民会議企画講座 9講座 延べ参加人数 254人	○

平成27年度

第五次青梅市生涯学習推進計画進ちょく状況報告書

(平成26年度分事業)

発行 青梅市生涯学習推進本部

編集 青梅市生涯学習推進本部事務局

青梅市教育委員会教育部社会教育課

〒 198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111